

あなたの声をお聞かせください

－ 障害のある方へのアンケートへの協力をお願い －

日ごろより、練馬区の健康福祉行政の推進につきまして、ご理解、ご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

練馬区では、障害のある方々の施策を総合的かつ計画的に推進するため、「次期練馬区障害者計画・第4期障害福祉計画（平成27年度～平成29年度）」の策定作業を進めています。（現計画書は、区役所障害者施策推進課および図書館、区民情報ひろば、区ボームページ等で閲覧できます。）この計画の策定にあたっては、障害のある方々の日常生活の状況、将来への希望、考え方等をお聞かせいただき、皆さまのご意見を反映させることが重要であると考え、このたびアンケート調査を実施することとしました。

この調査は、区内にお住まいの身体障害者手帳をお持ちの方々を無作為に抽出し、対象としています。なお、調査は無記名であり、結果については統計的に処理しますので、個人的にご迷惑をおかけすることはありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、このアンケート調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願い申し上げます。

練馬区

《記入にあたってのお願い》

1. このアンケートおよび返信用封筒には、お名前・ご住所を書く必要はありません。
2. このアンケートは、封筒のあて名ご本人に記入していただくものです。ただし、ご本人が記入することが困難な場合には、ご家族や身近な方がご本人の意見を聞きながら記入していただきますようお願いいたします。
3. お答えは、平成25年12月1日現在の状況を記入してください。
4. お答えは、あてはまる選択肢の番号等に○をつけていただくものです。なお、「その他」の場合は（ ）の中に具体的な内容も記入してください。
5. お答えは、「1つだけ」選んでいただくものと、「いくつでも」選んでいただくものと、また、自由に記入いただくものがあります。
6. 質問によっては、ある条件にあてはまる方だけにお答えをお願いするものがありますので、説明に当たってお答えください。
7. 答えたくない質問については、無理に答える必要はありません。

ご記入が終わったアンケート用紙は、お手数ですが**12月27日（金）までに、**同封の返信用封筒（切手は不要です）に入れ、お近くのポストに投函してください。

このアンケートについてわからない点があれば、下記までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

練馬区 健康福祉事業本部 福祉部 障害者施策推進課

担当：斎藤、堀内、望月

電話：03-5984-4602（直通）

FAX：03-5984-1215

■ あなた（あて名の方ご本人）のことについて ■

問1 あなたの性別と年齢をお答えください。

性別	1 男性	2 女性
年齢	歳	

問2 この調査票はどなたが記入されますか。（○は1つ）

- | | |
|-------------------|------------------------|
| 1 本人が自分一人で記入 | 3 本人の意向を考えながら家族や介助者が記入 |
| 2 本人に聞いて家族や介助者が代筆 | |

問3 現在、あなたはどこで暮らしていますか。（○は1つ）

- | | |
|-------------------------|-----------------|
| 1 自分の持ち家（購入マンションも含む） | 5 グループホーム、ケアホーム |
| 2 親など家族の持ち家（購入マンションも含む） | 6 社宅、会社の寮 |
| 3 公営住宅 | 7 福祉施設 |
| 4 アパート、賃貸マンション、借家 | 8 病院に入院している |
| | 9 その他（ ） |

問4 現在、あなたと一緒に暮らしている人はどなたですか。（○はいくつでも）

- | | |
|-----------------------|----------|
| 1 自分一人だけで暮らしている | 5 祖父、祖母 |
| 2 配偶者（夫または妻） | 6 兄弟、姉妹 |
| 3 息子、娘（息子または娘の配偶者も含む） | 7 その他（ ） |
| 4 父、母 | |

問5 あなたご本人の収入源は何ですか。（○はいくつでも）

- | | | |
|-----------|--------------|----------|
| 1 就労による収入 | 3 生活保護費 | 5 その他（ ） |
| 2 年金・手当 | 4 家族などからの仕送り | |

問6 身体障害者手帳に記載された障害の程度をお答えください。（○は1つ）

- | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 1 級 | 2 級 | 3 級 | 4 級 | 5 級 | 6 級 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|

問7 身体障害者手帳に記載されている障害は次のどれですか。あてはまる障害の番号を「1番目」の欄に記入してください。障害の種類が2つ以上記載されている場合は、記載の順番にしたがって「1番目」と「2番目」を記入してください。

1番目	1 視覚障害 2 聴覚障害 3 平衡機能障害 4 音声機能・言語機能・そしゃく機能の障害 5 肢体不自由（上肢、下肢、乳幼児期以前の非進行性の脳病変による運動機能障害） 6 肢体不自由（体幹） 7 心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸、肝機能、免疫の機能の障害 8 その他（ ）
2番目	

問8 身体障害者手帳を初めて取得されたのは何歳の頃ですか。 年齢

歳頃

問9 あなたは、福祉サービスを利用するために、「障害程度区分(6段階)」の認定を受けたことがありますか。ある場合には、区分にも○をつけてください。(○は1つ)

1	ない								
2	ある	→	(	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6)

問10 あなたは、以下の手帳をお持ちですか。お持ちの方は等級にも○をつけてください。(○はいくつでも)

1	愛の手帳	→	(	1度	2度	3度	4度)
2	精神障害者保健福祉手帳	→	(	1級	2級	3級)	
3	これらの手帳は持っていない						

問11 あなたは、以下のように診断されたことがありますか。(○はいくつでも)

1	発達障害(広汎性発達障害、ADHD、LDなど)	3	難病
2	高次脳機能障害	4	特になし

■ 介護・援助の状況について

問12 ふだん、あなたを介護・援助しているのはどなたですか。(○はいくつでも)

1	とくに介護等は受けていない(→問15へ進む)	7	行政の職員(ワーカー・保健師等)
2	配偶者(夫または妻)	8	病院の職員(看護師・精神保健福祉士等)
3	父、母	9	施設の職員
4	息子、娘(息子、娘の配偶者も含む)	10	訪問看護師
5	祖父、祖母	11	ホームヘルパー
6	兄弟、姉妹	12	その他()

最も長く介護・援助している人はどなたですか。

(問12の選択肢の番号を記入)

【問13、問14は、現在、介護・援助を受けている方におたずねします。】

問13 どのようときに介護・援助を受けていますか。(○はいくつでも)

1	食事	7	外出
2	トイレ	8	服薬
3	入浴	9	医療ケアに関わる介護
4	衣服の着脱	10	他の人と意思疎通を図りたいとき
5	家の中の移動	11	金銭管理
6	家事(調理、掃除、洗濯)	12	その他()

問14 あなたを主に介護・援助している方が、病気のときや、外出しなければならぬときは、あなたはどのようにしてほしいと思いますか。(○はいくつでも)

1	同居している他の家族に頼みたい
2	同居していない家族や親せきに頼みたい
3	介護や家事援助などを行うホームヘルプサービスを利用したい
4	訪問看護を利用したい
5	施設への短期入所(ショートステイ)を利用したい
6	近所の人や友人・知人に頼みたい
7	今までそのようなことはなかったもので、よくわからない
8	その他()

【すべての方におたずねします。】

問15 あなたは、ふだんの生活の中で、必要とする介護・援助を受けていると思いますか。(○は1つ)

1	必要だが、受けていない介護・援助がある	}	(→問17へ進む)
2	必要とする介護・援助は受けていると思う		
3	特に介護・援助を必要としていない		
4	その他()		

問16 必要だが、受けていない介護・援助は、どのようなことですか。(自由記入)

■ 日中の過ごし方について

【すべての方におたずねします。】

問17 あなたは、平日の昼間、主にどこで(何をして)過ごしていますか。(○は1つ)

1	幼稚園や保育園、学校などに通っている		
2	働いている(就労移行支援・就労継続支援事業所などの作業所も含む)	}	(→問20へ進む)
3	施設(福祉園など)で介護・訓練を受けている		
4	病院や診療所のデイクケアなどを利用している		
5	障害者地域生活支援センター(きらら、すてっぷ、ういんぐ、さくら)に通っている		
6	自宅に多くの時間が多い		
7	その他()		(→問27へ進む)

■ 教育について ■

【問 18、問 19 は、現在「幼稚園や保育園、学校などに通っている」方におたずねします。】

問 18 通園・通学先はどこですか。(○は1つ)

1 幼稚園	4 特別支援学校	7 職業訓練校
2 保育園	5 特別支援学級	8 専門学校・大学
3 児童発達支援事業所等	6 通常の学級	9 その他()

問 19 幼稚園・学校などに通っていて、もっと充実してほしいことはありますか。(○はいくつでも)

1 通いやすくしてほしい(通学手段の改善など)
2 施設・設備などを充実してほしい
3 介助体制を充実してほしい
4 先生・生徒の理解などが深まってほしい
5 放課後の居場所づくりを充実してほしい
6 夏休みなど長期休みの際の取組を充実してほしい
7 その他()
8 特に困っていることはない

【次は問 27 へ進んでください。】

■ 雇用・就労について ■

【問 20～問 23 は、現在「働いている」方におたずねします。】

問 20 仕事の形態は次のうちどれですか。(○は1つ)

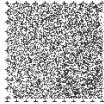
1 自営業	5 内 職
2 家業の手伝い	6 就労移行支援・就労継続支援事業所
3 会社・団体等の正規社員	7 その他
4 非正規社員(臨時、パート、派遣等)	()

問 21 あなたの職場はどこにありますか。(○は1つ)

1 練馬区内	2 23 区内(練馬区を除く)	3 東京都内	4 東京都外
--------	-----------------	--------	--------

問 22 仕事で得た収入は1年にどれくらいですか(給与・賞金など)。(○は1つ)

1 5万円未満	6 300 万円～500 万円未満
2 5万円～20 万円未満	7 500 万円～700 万円未満
3 20 万円～50 万円未満	8 700 万円以上
4 50 万円～100 万円未満	9 収入はない
5 100 万円～300 万円未満	



問 23 仕事をすると不安や不満がありますか。(○はいくつでも)

1 収入が少ない	8 人間関係が苦手
2 仕事が難しい	9 職場での身分が不安定
3 仕事がついて	10 トイレなど障害者用の設備が十分でない
4 自分にあった内容の仕事がない	11 昇給や昇進が平等ではない
5 1日の就労時間が長い	12 通勤が大変
6 1週間の就労日数が多い	13 その他()
7 障害への理解が足りない	14 特に不安や不満はない

【次は問 27 へ進んでください。】

【問 24～問 26 は、現在働いていない方におたずねします。】

問 24 今後、働いてみたいと思いますか。(○は1つ)

1 働きたい	3 働きたくない
2 働きたいが、働けないと思う	4 わからない

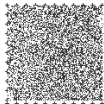
} (→問 26 へ進む)

→問 25 「働いてみたい」と思う仕事の形態は次のうちどれですか。(○は1つ)

1 自営業	5 内 職
2 家業の手伝い	6 就労移行支援・就労継続支援事業所
3 会社・団体等の正規社員	7 その他
4 非正規社員(臨時、パート、派遣等)	()

問 26 働いていない理由は次のうちどれですか。(○はいくつでも)

1 体調がよくないから	6 やりたくない仕事が見つからないから
2 働くと、体調が悪いときに休みにくいから	7 仕事が難しそうだから
3 働くと、通院しにくいから	8 家事があるから
4 通勤が難しいから	9 その他
5 職場の理解が得られないと思うから	()



【すべての方におたずねします。】

問 27 あなたは、障害のある方が働くためにはどのような環境が整っていることが大切だと思いますか。
(○はいくつでも)

1	自分の家の近くに働く場があること
2	自分の家の中で、通勤することなく働けること
3	健康状態にあわせた働き方ができること
4	障害のある人にあった仕事を用意されること
5	就労支援機関(レインボーワーク、就労移行支援事業所等)が充実していること
6	生活支援・余暇支援が充実していること
7	事業主や職場の人たちが、障害者雇用について十分理解していること
8	職場の施設や設備が障害のある人にも利用できるように配慮されていること
9	ジョブコーチの支援を受けながら働けること
10	同じような障害のある仲間と一緒に、あるいは交替で働けること
11	その他()
12	わからない

※ジョブコーチ:企業就労や企業で働き続けるために、障害者と企業との間に入って支援する人

■ 外出や社会参加の状況について

問 28 外出の際に困っていることがありますか。(○はいくつでも)

1	付き添ってくれる人がいない
2	他人との会話が難しい
3	他人の視線が気になる
4	必要ときに、周りの人の手助け・配慮が足りない
5	歩道が狭く、放置自転車などの障害物が多いなど、歩道が歩きにくい
6	建物などに段差が多く、利用しにくい
7	車を駐車するところがない
8	気軽に利用できる移送手段が少ない
9	電車やバスなどが利用しづらい
10	障害者用のトイレが少ない
11	その他()
12	特に困っていることはない

問 29 あなたは、これからどのような活動をしたいと思いますか。(○はいくつでも)

1	スポーツやレクリエーション
2	旅行
3	ボランティア活動
4	障害者団体の活動
5	趣味などのサークル活動
6	講座や講演会などへの参加
7	地域の行事やお祭
8	その他()
9	特に活動したくない

問 30 あなたは、問 29 のような活動に参加するためにはどのような支援が必要だと思いますか。
(○はいくつでも)

1	活動についての情報が提供されること
2	一緒に行く仲間がいること
3	活動する場所が近くにあること
4	外出のための手段が確保されていること
5	障害にあった対応があること
6	適切な指導者がいること
7	障害のある人に配慮した施設や設備があること
8	介助者・援助者がいること
9	その他()
10	特にない

■ 健康状況や医療について

問 31 あなたには、かかりつけ医がいますか。(○は1つ)

1	いる
2	いない

問 32 健康管理や医療について、困ったり不便に感じたことはありますか。(○はいくつでも)

1	特に困っていることはない
2	近所に診てくれる医師がいない
3	専門的な治療を行う医療機関がない
4	通院や健康診査のときに付き添いがいない
5	往診を頼める医師がいない
6	定期的に健康診査を受けられない
7	医療機関とのコミュニケーションがとれない
8	障害のために症状が正確に伝わらず、必要な治療が受けられない
9	受診手続きなど、障害のある人への配慮が不十分
10	医療機関の建物が障害のある人に配慮した構造になっていない
11	医療費の負担が大きい
12	休日・夜間の相談や治療をしてくれる医療機関が少ない
13	その他()

■ 相談や情報の入手について

問 33 あなたは、悩みごとや心配ごとがあるとき、家族や親せき以外にどのようなところに相談していますか。(○はいくつでも)

1	総合福祉事務所
2	保健相談所
3	きらら・すてっぷ・ういんぐ・さくら
4	権利擁護センター ほっとサポートねりま
5	民生委員・児童委員
6	身体障害者・知的障害者相談員
7	児童相談所
8	福祉施設
9	病院・診療所
10	学校・職場
11	障害者団体
12	友人・知人
13	その他()
14	相談できるところはない
15	相談の必要はない

問 34 あなたは、悩みごとや心配ごとを、家族や親せき以外に相談するためには、どのような体制が整っているか、というと思いますか。(自由記入)

問 35 福祉サービスなどの情報をどこから得ていますか。(〇はいくつでも)

1	ねりま区報	8	民生委員・児童委員
2	区のホームページ	9	障害者団体
3	区の障害者福祉のしおり	10	家族・親せき
4	総合福祉事務所・保健相談所	11	友人・知人
5	きらら・すてっぷ・ういんぐ・さくら	12	その他
6	学校、職場、施設		()
7	病院、診療所	13	わからない

問 36 福祉サービスの情報を十分に得るためには、区はどのようなことを充実すべきだと思いますか。(自由記入)

問 37 あなたは、ふだん周囲の方々とコミュニケーションのために、どのような手段・機器等を利用していますか。(〇はいくつでも)

1	パソコンのメール	8	触 手話
2	携帯のメール	9	指 文字・指文字
3	携帯用会話補助装置	10	意志伝達装置
4	手話・手話通訳	11	文字盤
5	読 話	12	その他
6	筆談・要約筆記		()
7	補聴機器(補聴器・人工内耳など)	13	特に使用している機器はない

問 38 円滑なコミュニケーションの実現や情報入手のために、どのようなことを充実するとよいと思いますか。(〇はいくつでも)

1	点字による情報提供を増やす
2	音声による情報提供を増やす
3	パソコン・携帯メールによる情報提供を増やす
4	手話通訳・要約筆記を充実する
5	公共施設の案内・誘導をわかりやすくする
6	コミュニケーション支援機器を充実する
7	コミュニケーション支援機器の種類・使い方についての情報提供を増やす
8	その他
9	特にない



問 39 あなたは、この 1 年くらいの間に次のサービスを利用したことがありますか。(〇はいくつでも)

1	ホームヘルプなどの訪問系サービス
2	訪問看護などの医療系サービス
3	短期入所(ショートステイ)・緊急一時保護
4	補装具費の支給・修理
5	日常生活用具の給付・レンタル
6	住宅設備改善費の給付
7	福祉タクシー券の交付、自動車燃料費の助成等
8	移動支援・同行援護
9	訪問入浴サービス
10	就労移行支援・就労継続支援・生活介護などの日中活動系サービス
11	グループホーム・ケアホームなどの居住系サービス
12	児童発達支援・放課後等デイサービスなど
13	手話通訳者・要約筆記者の派遣
14	その他
15	1～13 のサービスを利用したことがない

※グループホーム・ケアホーム：夜間や休日に、身辺の介護、相談や日常生活の援助等を受けながら共同生活を行う住居

問 40 あなたは、現在必要だと思うサービスを十分利用していますか。(〇は1つ)

1	十分利用している	}	(→問 42へ進む)
2	十分ではないが、ほぼ利用している		
3	あまり利用していない		
4	その他	}	(→問 42へ進む)
5	わからない		
6	サービスを利用する必要がない		

問 41 必要だと思うサービスを「あまり利用していない」理由は何か。(〇はいくつでも)

1	自己負担が大きいため	5	利用の仕方がわからないから
2	支給要件に該当しないから	6	個別のニーズに対応できないから
3	必要とするサービスがないから	7	その他
4	どのようなサービスがあるかわからないから	8	わからない



【すべての方におたずねします。】

問 42 次のサービスの中で、今後も引き続き利用したい、あるいは新たに利用したいと思うサービスはありますか。(○はいくつでも)

1	ホームヘルプなどの訪問系サービス
2	訪問看護などの医療系サービス
3	短期入所(ショートステイ)・緊急一時保護
4	補装具費の支給・修理
5	日常生活用具の給付・レンタル
6	住宅設備改善費の給付
7	福祉タクシー券の交付、自動車燃料費の助成等
8	移動支援・同行援護
9	訪問入浴サービス
10	就労移行支援・就労継続支援・生活介護などの日中活動系サービス
11	グループホーム・ケアホームなどの居住系サービス
12	児童発達支援・放課後等デイサービスなど
13	手話通訳者・要約筆記者の派遣
14	その他()
15	1～13の中に利用したいサービスはない

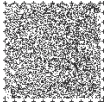
問 43 サービスを利用しやすくするためには、どのようなことが必要だと思いますか。(自由記入)

--

■ 将来について

問 44 今後、日中をどのようにして過ごしたいと思いますか。(○はいくつでも)

1	学校に通いたい
2	一般企業などで働きたい
3	就労移行支援・就労継続支援事業所などで働きたい(福祉的就労)
4	就労のための訓練・支援を受け(就労移行支援)、企業就労を目指したい
5	自立した日常生活が送れるよう、自立訓練を受けて過ごしたい
6	医療機関で機能訓練、看護、介護、日常生活の支援などを受けながら過ごしたい
7	福祉園などの通所施設で、身辺の介護などを受けながらさまざまな活動を行いたい
8	自宅で過ごしたい
9	その他()
10	わからない



問 45 今後、あなたはどのような暮らし方をしたいと思いますか。(○は1つ)

1	ひとりで暮らしたい	5	病院に入院して暮らしたい
2	家族と一緒に暮らしたい	6	その他()
3	グループホーム・ケアホームで暮らしたい		
4	施設に入所して暮らしたい	7	わからない

問 46 今後も練馬区に住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

1	住み続けたい	2	区外に移転したい	3	わからない
---	--------	---	----------	---	-------

問 47 問 46 のように答えた理由は何ですか。(自由記入)

--

■ 災害対策について

問 48 あなたは、最寄の避難拠点(区立小中学校)の場所をご存じですか。(○は1つ)

※練馬区では、災害時に自宅で生活することができない場合の避難場所として、全区立小中学校を指定しており、避難拠点と呼んでいます。なお、避難拠点は居住地による指定はありません。お住まいの地域にかかわらず避難ができます。

1	知っている	2	知らない(一問 50 へ進む)
---	-------	---	-----------------

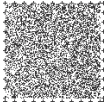
→ 問 49 あなたは、その避難拠点まで自力で避難することができますか。(○は1つ)

1	できと思う	2	できないと思う	3	その他()
---	-------	---	---------	---	--------

【すべての方におたずねします。】

問 50 災害に備えて、あなたが準備していることはどんなことですか。(○はいくつでも)

1	非常用の食糧や飲料水を準備している	5	家族との連絡方法を決めている
2	非常持ち出し用の携帯ラジオ、懐中電灯、毛布などを準備している	6	避難する場所を決めている
3	非常用にいつも飲んでる菓を準備している	7	防災訓練に参加している
4	スマホ、オムツ、バッテリー、発電機など、障害特性に応じて必要な用品を準備している	8	災害時要援護者名簿に登録している
		9	その他()
		10	特に何もしていない



問 51 災害に備えて、または災害時に、どのような対策が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

1	避難しやすい避難所を整備する
2	障害のある人が防災訓練等に参加するように促す
3	日頃から避難方法のアドバイスや情報提供を行う
4	緊急通報システムを整備する
5	避難時の支援体制、地域で助け合える体制を整備する
6	避難時に障害者用設備(トイレ、ベッドなど)を配置する
7	避難時に人工透析や在宅酸素など生命安全・維持装置を確保する
8	避難時において視覚障害者や聴覚障害者に配慮した情報提供を行う
9	避難時の介助人などを確保する
10	避難所での手話通訳者、ガイドヘルパーなどを確保する
11	避難所で補装具等の貸出しを行う
12	その他()
13	特にない

■ 権利擁護について

問 52 障害があることで、差別や人権侵害を受けていると感じることがありますか。(○は1つ)

1	いつも感じる	3	ほとんど感じることはない
2	たまに感じる	4	わからない

問 53 具体的には、どのようなときに差別や人権侵害を受けていると感じますか。(自由記入)

--

【すべての方におたずねします。】

問 54 地域で暮らす上で、障害に対して理解を得られていると感じますか。(○は1つ)

1	十分得られていると感じる	4	まったく得られていないと感じる
2	時々得られていないと感じる	5	わからない
3	あまり得られていないと感じる		

問 55 具体的には、どのようなときに理解を得られている、あるいは理解を得られていないと感じますか。
(自由記入)

--

問 56 あなたは、障害および障害のある方への区民の理解を深めるためには、何が重要だと思いますか。(○はいくつでも)

1	障害への理解を深めるための広報・啓発を充実する
2	ボランティア活動や障害理解を深める活動をしている団体を支援する
3	障害のある方との交流を通じて理解と参加を広める
4	学校における福祉教育・人権教育を充実する
5	障害のある方の社会参加のために支援を充実する
6	福祉施設が地域住民との交流を進める
7	障害のある方自らが、積極的に地域活動に参加する
8	障害のある方自らが、必要な手助け等を周囲に伝える
9	その他()
10	わからない
11	特にない

問 57 あなたは、成年後見制度を知っていますか。(○は1つ)

※成年後見制度とは、自分で十分な判断ができない人のために、後見人等を選任して本人の意思決定を助け、生活や財産などの権利を守る制度です。選ばれた後見人等は、本人の意思を尊重し、心身の状態に配慮しながら必要な代理行為を行い、財産を適正に管理します。練馬区では、練馬区社会福祉協議会の権利擁護センター「ほっとサポートねりま」を成年後見制度の推進機関と位置づけています。

1	知っている	2	知らない
---	-------	---	------

問 58 あなたは、今後の状況によって成年後見制度を利用しますか(利用する予定ですか)。

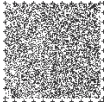
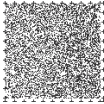
(○は1つ)

1	現在利用している (→問 60へ進む)	3	利用したいと思わない
2	今後利用したい (→問 60へ進む)	4	わからない (→問 60へ進む)

【「利用したいと思わない」とお答えの方におたずねします。】

問 59 成年後見制度を利用しない(したくない)理由は何ですか。(○はいくつでも)

1	手続きが複雑である	4	制度のしくみがよくわからない
2	費用負担が大きい	5	その他()
3	後見人が選任されるまでに時間がかかる	6	必要がない



【すべての方におたずねします。】

問 80 今後、障害者施策を充実するためには、どのようなことが必要だと思いますか。(○はいくつでも)

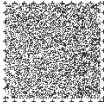
1	障害の早期発見・早期療育に努めること
2	障害のある人となない人の交流を推進し、相互理解を深めること
3	障害のある子どもそれぞれの障害状況や発達段階に応じた教育を進めること
4	障害のある人の働く場の確保や働き続けるための支援を充実すること
5	ホームヘルパーの派遣など在宅生活支援サービスを充実すること
6	区内で利用できる施設を整備すること
7	障害者や高齢者にやさしい福祉のまちづくりを推進すること
8	障害のある人の住まい(公営住宅やグループホームなど)を整備すること
9	文化、スポーツ、レクリエーション活動に参加できるよう支援すること
10	障害のある当事者による活動を支援すること
11	ボランティア活動を充実すること
12	障害者施策や福祉に関する情報提供を充実すること
13	相談体制を充実し、適切な支援に努めること
14	当事者のみでなく、家族を支える支援を充実すること
15	その他()
16	特にない

最後に、この調査を通じて選択肢や自由記入欄だけでは表現しきれなかったことや、ご意見・ご要望、次期計画に盛り込みたいことなどがありましたら、自由にお書きください。

調査にご協力いただき誠にありがとうございました。

「あて名の方ご本人」へのおたずねは以上です。
記入もれがないかももう一度お確かめのうえ、同封の返信用封筒(切手は不要です)に入れて、
12月27日(金)までにお近くのポストに投函してください。

もし、差し支えなければ、ふだんあて名の方ご本人を主に介助・援助されている方のご意向(16ページ)もお聞かせください。



このページは、ふだん「あて名の方ご本人」を介助・援助している方のお答えください。

問 61 あて名の方ご本人を介助・援助するにあたって、困っていることはありますか。(○はいくつでも)

1	介助・援助の方法がわからない	11	孤独感がある
2	福祉サービス等の情報が不足している	12	精神的な負担が大きい
3	福祉サービス等が十分に利用できない	13	経済的な負担が大きい
4	余暇など自分の時間が持てない	14	他にも介助の必要な家族・親族がいる
5	ちよつとした外出ができない	15	他の家族の援助が足りない
6	仕事に出られない	16	隣近所の人との関係づくりが難しい
7	長期的な外出ができない	17	何かの際に相談や介助を頼める人がいない
8	睡眠不足である	18	その他()
9	身体的な負担が大きい	19	特にない
10	年齢的に負担が大きい		

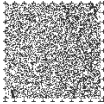
問 62 あなた(介助・援助者)は、あて名の方ご本人が将来(今後)、どのように暮らすのがよいとお考えですか。(○は1つ)

1	現在の家族と一緒に暮らす
2	新しい家族をつくって家族と一緒に暮らす
3	グループホーム・ケアホームで暮らす
4	ひとりで暮らす
5	施設に入所して暮らす
6	病院に入院して暮らす
7	その他()
8	わからない

最後に、練馬区の障害者施策などについて、ご意見・ご要望がございましたら、自由にお書きください。

調査にご協力いただき誠にありがとうございました。

同封の返信用封筒(切手は不要)に入れ、**12月27日(金)まで**にご投函ください。



あなたの声をお聞かせください

－ 障害のある方へのアンケートへのご協力をお願い －

日ごろより、練馬区の健康福祉行政の推進につきまして、ご理解、ご協力をいただき、御礼申し上げます。

練馬区では、障害のある方々の施策を進めていくため、「次期練馬区障害者計画・第四期障害福祉計画（平成27年度～平成29年度）」をつくる作業を進めています。（現状計画は、区役所障害者施策推進課や図書館、区民情報ひろば、区ホームページ等で見ることができます。）この計画をつくるために、障害のある方々の日常生活の状況、将来への希望、考え方などをお聞かせいただき、皆さまのご意見を計画に取り入れるため、アンケート調査をおこなうこととしました。

このアンケートは、区内にお住まいの愛の手帳をお持ちの方々の方々を無作為に抽出し、対象としていきます。なお、このアンケートにはお名前・ご住所を書く必要はありません。ご回答いただきました内容はすべて統計的に処理し、個人的にご迷惑をおかけすることはありません。お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願い申し上げます。

練馬区

《記入にあたってのお願い》

- このアンケートおよび返信用封筒には、お名前・ご住所を書く必要はありません。
- このアンケートは、封筒のあて名の方ご本人に書いていただくものです。ご本人が書くことがむずかしい時などには、ご家族や身近な方がご本人の意見を聞きながら代わりに書いてください。
- お答えは、平成25年12月1日現在の状況を書いてください。
- お答えは、あてはまる項目の番号などに○をつけていただくものです。なお、「その他」の場合は、（ ）の中にその具体的な内容を書いてください。
- お答えは、「1つだけ」選んでいただくものと、「いくつでも」選んでいただくもの、また、自由に書いていただくものがあります。
- 質問によっては、ある条件にあてはまる方だけにお答えをお願いするものがありますので、説明に当たってお答えください。
- 答えたくない質問については、無理に答える必要はありません。

ご記入いただいたアンケート用紙は、**12月27日（金）までに**、一緒にはいつている返信用封筒（切手はいりません）に入れ、お近くの郵便ポストに入れてください。

このアンケートについてわからない点があれば、下記までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

練馬区健康福祉事業本部 福祉部 障害者施策推進課
担当：斎藤、堀内、望月
電話：03-5984-4602（直通）
FAX：03-5984-1215

■ あなた（あて名の方ご本人）のことについて

問1 あなたの性別と年齢をお答えください。

性別	1 おとこ	2 おんな
年齢		

問2 このアンケートはだれが書いていますか。（○は1つ）

- | | |
|-------------------|---------------|
| 1 自分ひとりで書いている | 3 本人の意向を考えている |
| 2 本人に聞いて家族や介護者が代筆 | 家族や介護者が記入 |

問3 現在、あなたはどこで暮らしていますか。（○は1つ）

- | | |
|-------------------------|-----------------|
| 1 自分の持ち家（購入マンションも含む） | 5 グループホーム、ケアホーム |
| 2 親など家族の持ち家（購入マンションも含む） | 6 社宅、会社の寮 |
| 3 公営住宅 | 7 福祉施設 |
| 4 アパート、賃貸マンション、借家 | 8 病院に入院している |
| | 9 その他（ ） |

問4 現在、あなたと一緒に暮らしている人はだれですか。（○はいくつでも）

- | | |
|----------------|---------------|
| 1 ひとりで暮らしている | 5 おじいさん、おばあさん |
| 2 夫または妻 | 6 きょうだい、しまい |
| 3 こども（むすこ、むすめ） | 7 その他 |
| 4 おとうさん、おかあさん | （ ） |

問5 あなたご本人の収入の種類は何ですか。（○はいくつでも）

- | | | |
|---------|---------|-------|
| 1 働いた収入 | 3 生活保護費 | 5 その他 |
| 2 年金・手当 | 4 家族のお金 | （ ） |

問6 愛の手帳には何度と書かれていますか。（○は1つ）

1 度	2 度	3 度	4 度
-----	-----	-----	-----

問7 愛の手帳を何歳から持っていますか。

年齢	歳ごろ
----	-----

問8 あなたは、福祉サービスを利用するための、「障害程度区分（6段階）」は決まっていますか。決まっている場合には、区分にも○をつけてください。（○は1つ）

- | |
|--|
| 1 決まっていない |
| 2 決まっている → （ 区分1 区分2 区分3 区分4 区分5 区分6 ） |

問9 あなたは、愛の手帳のほかに持っている手帳はありますか。持っている方は等級にも○をつけてください。(○はいくつでも)

1 身体障害者手帳	→ (1級 2級 3級 4級 5級 6級)
2 精神障害者保健福祉手帳	→ (1級 2級 3級)
3 これらの手帳は持っていない	

【問10は、身体障害者手帳を持っている方がお答えください。】

問10 身体障害者手帳に書かれている障害は次のどれですか。あてはまる障害の番号を「1番目」とのところに書いてください。障害の種類が2以上書かれているときは、書かれている順番に「1番目」と「2番目」を書いてください。

1番目	1 視覚障害 2 聴覚障害 3 平衡機能障害 4 音声機能・言語機能・そしゃく機能の障害 5 肢体不自由(上肢、下肢、下肢、乳幼児期以前の非進行性の脳病変による運動機能障害) 6 肢体不自由(体幹) 7 心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸、肝機能、免疫の機能の障害 8 その他()
2番目	

【すべての方におたずねします。】

問11 あなたは、以下のように病院などで言われたことがありますか。(○はいくつでも)

1 発達障害(広汎性発達障害、ADHD、LDなど)	3 難病
2 高次脳機能障害	4 言われたことはない

■ 手助けについて

問12 ふだん、あなたを手助けしている人はどれですか。(○はいくつでも)

1 とくに手助けはしてもらっていない(→問15へ進む)	7 総合福祉事務所、保健相談所
2 夫または妻	8 病院
3 おとうさん、おかあさん	9 施設
4 こども(むすこ、むすめ)	10 訪問看護師
5 おじいさん、おばあさん	11 ホームヘルパー
6 きょうだい、しまい	12 その他()

最も長く手助けしている人
はどれですか。

↑ (問12の番号を書いてください)

【問13、問14は、現在手助けをしてもらっている方におたずねします。】

問13 どのようなときに手助けをしてもらっていますか。(○はいくつでも)

1 食事	5 家の中の移動	9 医療ケアに関わる介助
2 トイレ	6 家事(調理、掃除、洗濯)	10 他の人とコミュニケーションをとりたいとき
3 おふろ	7 外出	11 お金の管理
4 着替え	8 薬をのむ	12 その他()

問14 あなたを手助けしている方が、病気のときや、外出しなければならぬときなどは、あなたはどのようにしてほしいと思いますか。(○はいくつでも)

1 いっしょに住んでいるほかの家族にたのみたい	5 施設への短期入所(ショートステイ)を利用したい
2 いっしょに住んでいない家族や親せきにたのみたい	6 近所の人や友だち・知り合いにたのみたい
3 ホームヘルプサービスを利用したい	7 いままでそのようなことはなかったので、よくわからない
4 訪問看護を利用したい	8 その他()

【すべての方におたずねします。】

問15 あなたは、ふだんの生活の中で、必要とする手助けをしてもらっていると思いますか。(○は1つ)

1 必要だが、してもらっていない手助けがある	} (→問17へ進む)
2 必要とする手助けをもらっていると思う	
3 特に手助けを必要としていない	
4 その他()	

問16 必要だが、してもらっていない手助けは、どのようなことですか。(自由記入)

■ 日中の過ごし方について

【すべての方におたずねします。】

問17 あなたは、平日の昼間、どこにいますか。(○は1つ)

1 幼稚園や保育園、学校	5 障害者地域生活支援センター(きら・す)
2 会社など(就労移行支援・就労継続支援など作業所も含む)	6 自分の家(→問24へ進む)
3 施設(福祉園など)	7 その他()
4 病院、診療所	(→問24へ進む)

■ 教育について ■

【問18、問19は、現在「幼稚園や保育園、学校」などで過ごす方におたずねします。】

問18 あなたは、いまどこに通っていますか。(○は1つ)

1 幼稚園	4 特別支援学校	7 職業訓練校
2 保育園	5 特別支援学級	8 専門学校・大学
3 児童発達支援事業所など	6 通常の学級	9 その他()

問19 幼稚園・学校などに通っていて、もっとよくしてほしいことはなんですか。(○は1つでも)

1 通いやすいしてほしい(通学手段の改善など)
2 使いやすい施設にしてほしい
3 介助をうけやすくしてほしい
4 先生・生徒にもっと障害のことをわかってほしい
5 放課後の取組を充実してほしい
6 夏休みなど長い休みのときの取組を充実してほしい
7 その他()
8 特に困っていることはない

【次は問27へ進んでください】

■ 雇用・就労について ■

【問20～問23は、現在「働いている」方におたずねします。】

問20 仕事の働き方は次のうちどれですか。(○は1つ)

1 自営業	5 内職
2 家業の手伝い	6 就労移行支援・就労継続支援事業所
3 会社・団体などの正規社員	7 その他
4 非正規社員(臨時、パート、派遣など)	()

問21 あなたの職場はどこにありますか。(○は1つ)

1 練馬区内	2 23区内(練馬区を除く)	3 東京都内	4 東京都外
--------	----------------	--------	--------

問22 この1年間に、働いてもらったお金(給料・工賃)はいくらですか。(○は1つ)

1 5万円未満	4 50万円～100万円未満	7 500万円～700万円未満
2 5万円～20万円未満	5 100万円～300万円未満	8 700万円以上
3 20万円～50万円未満	6 300万円～500万円未満	9 収入はない

問23 仕事の不安や不満がありますか。(○はいくつでも)

1 収入が少ない	8 職場の人たちとうまくいかない
2 仕事が進まずかしい	9 今の職場ですと働けるかどうかかわからない
3 仕事がつきつい	10 トイレなどがつかいにくい
4 自分にあった内容の仕事がない	11 給料がふえない
5 1日の仕事時間が長い	12 通うのがたいへん
6 1週間の仕事日数が多い	13 その他()
7 障害のことをなかなかわかってくれない	14 特に不安や不満はない

【次は問27へ進んでください】

【問24～問26は、現在働いていない方におたずねします。】

問24 今後、働いてみたいと思いますか。(○は1つ)

1 働きたい	3 働きたくない
2 働きたいが、働けないと思う	4 わからない

問25 「働いてみたいと思う働き方は次のうちどれですか。(○は1つ)

1 自営業	5 内職
2 家業の手伝い	6 就労移行支援・就労継続支援事業所
3 会社・団体などの正規社員	7 その他
4 非正規社員(臨時、パート、派遣など)	()

問26 働いていない理由は次のうちどれですか。(○はいくつでも)

1 体調がよくないから	6 やりたい仕事が見つからないから
2 働くど、体調が悪いときに休みにくいから	7 仕事が難しうだから
3 働くど、通院しにくいから	8 家があるから
4 通勤が難しいから	9 その他
5 職場の理解が得られないと思うから	()

【すべての方におたずねします。】

問27 あなたは、障害のある方が働くためにはどのようなことが大切だと思いますか。(○はいくつでも)

- | | |
|----|---|
| 1 | 家の近くに住くところがあること |
| 2 | 通勤はしないで、家の中で働けること |
| 3 | からだの調子にあわせて働けること |
| 4 | 仕事の内容が障害のある人にあっていること |
| 5 | 就労支援をおこなうところ(レインボーワーク、就労移行支援事業所など)が充実していること |
| 6 | 生活支援・余暇支援が充実していること |
| 7 | 事業主や職場の人たちが、障害のある人と働くことに十分にわかってくれていること |
| 8 | 職場の施設や設備が使いやすいようになっていること |
| 9 | ジョブコーチの支援を受けながら働けること |
| 10 | 同じような障害のある仲間と仕事を分け合ったり、交代で働くなど、無理なく働けること |
| 11 | その他() |
| 12 | わからない |

※ジョブコーチ：企業就労や企業で働き続けるために、障害者と企業との間に入って支援する人

■ 外出や社会参加の状況について

問28 出かけるとき、困っていることがありますか。(○はいくつでも)

- | | |
|----|--------------------------------|
| 1 | つきそってくれる人がいない |
| 2 | まわりの人と話すのがむずかしい |
| 3 | まわりの人の目が気になる |
| 4 | まわりの人の手助け・配慮が足りない |
| 5 | 歩道が狭かったり、自転車置いてあったりして、歩道が歩きにくい |
| 6 | 建物などに段差が多く、利用しにくい |
| 7 | 車を停めるところがない |
| 8 | 気候に利用できる移送手段が少ない(福祉タクシーなど) |
| 9 | 電車やバスなどが利用しづらい |
| 10 | トイレが使いにくい、少ない |
| 11 | その他() |
| 12 | 特に困っていることはない |

問29 次の活動の中で、あなたがこれからしたいことはなんですか。(○はいくつでも)

- | | |
|---|---------------|
| 1 | スポーツやレクリエーション |
| 2 | 旅行 |
| 3 | ボランティア活動 |
| 4 | 障害者団体の活動 |
| 5 | 趣味などのサークル活動 |
| 6 | 講座や講演会などへの参加 |
| 7 | 地域の行事やお祭 |
| 8 | その他() |
| 9 | 特にしたいことはない |

問30 あなたは、問29のような活動に参加するためにはどのような手助けが必要だと思いますか。(○はいくつでも)

- | | |
|----|-----------------------|
| 1 | 活動についてのおしらせがあること |
| 2 | いっしょに行く仲間がいること |
| 3 | 活動する場所が近くにあること |
| 4 | 外出のための手助け・サービスがあること |
| 5 | 障害にあった対応ができること |
| 6 | きちんと教えてくれる人がいること |
| 7 | 障害のある人が使いやすい施設などがあること |
| 8 | 手助けをしてくれる人がいること |
| 9 | その他() |
| 10 | 特にない |

■ 健康状況や医療について

問31 あなたには、かかりつけのお医者さんがいますか。(○は1つ)

- | | |
|---|-----|
| 1 | いる |
| 2 | いない |

問32 健康管理や医療について、困ったり不便に感じたことはありますか。(○はいくつでも)

- | | |
|----|-------------------------------|
| 1 | 特に困っていることはない |
| 2 | 近所に診てくれるお医者さんがいない |
| 3 | 専門的な治療を行う病院・診療所がない |
| 4 | 通院や健康診断のときにつきそいがいない |
| 5 | 往診をたのめるお医者さんがいない |
| 6 | 定期的に健康診断を受けられない |
| 7 | 病院・診療所とのコミュニケーションがとれない |
| 8 | 障害のために症状が正確に伝わらず、必要な治療が受けられない |
| 9 | 受診手続きなどがわかりにくい |
| 10 | 病院・診療所の建物が使いにくい |
| 11 | 医療費の負担が大きい |
| 12 | 休日・夜間の相談や治療をしてくれる病院・診療所が少ない |
| 13 | その他() |

■ 相談や情報の入手について

問33 あなたは、悩みごとや心配ごとがあるととき、家族や親せき以外にどのようなところに相談していますか。(○はいくつでも)

- | | |
|----|---------------------|
| 1 | 総合福祉事務所 |
| 2 | 保健相談所 |
| 3 | きらら・すてっぷ・ういんぐ・さくら |
| 4 | 権利擁護センター ほっとサポートねりま |
| 5 | 民生委員・児童委員 |
| 6 | 身体障害者・知的障害者相談員 |
| 7 | 児童相談所 |
| 8 | 福祉施設 |
| 9 | 病院・診療所 |
| 10 | 学校、職場 |
| 11 | 障害者団体 |
| 12 | 友だち、知り合い |
| 13 | その他() |
| 14 | 相談できるところはない |
| 15 | 相談の必要はない |

問34 どのようなになれば家族や親せき以外にも相談しやすくなりますか。(自由記入)

問35 福祉サービスなどの情報をどこで知りますか。(〇はいくつでも)

1	ねりま区報	8	民生委員、児童委員
2	区のホームページ	9	障害者団体
3	区の障害者福祉のしおり	10	家族、親せき
4	総合福祉事務所、保健相談所	11	友だち、知り合い
5	きらら・すてっぷ・ういんぐ・さくら	12	その他
6	学校、職場、施設		()
7	病院、診療所	13	わからない

問36 福祉サービスのことが十分にわかるためには、区はどのようなことに力を入れたらよいですか。(自由記入)

福祉サービスについて

問37 あなたは、この1年くらいの間に次のサービスを利用しましたか。(〇はいくつでも)

1	ホームヘルプなどの訪問系サービス
2	訪問看護などの医療系サービス
3	短期入所(ショートステイ)・緊急一時保護
4	補装具費の支給・修理
5	日常生活用具の給付・レンタル
6	住宅設備改善費の給付
7	福祉タクシー券の交付・自動車燃料費の助成など
8	移動支援・同行援護
9	訪問入浴サービス
10	就労移行支援・就労継続支援・生活介護などの日中活動系サービス
11	グループホーム・ケアホームなどの居住系サービス
12	児童発達支援・放課後等デイサービスなど
13	手話通訳者・要約筆記者の派遣
14	その他
15	1～13のサービスを利用したことがない

※グループホーム・ケアホーム：夜間や休日に、身辺の介護、相談や日常生活の援助等を受けながら共同生活を行う住居

問38 あなたは、現在必要だと思うサービスを十分利用していますか。(〇はいつ)

1	十分利用している	}	(→間40へ進む)
2	十分ではないが、ほぼ利用している		
3	あまり利用していない		
4	その他	}	(→間40へ進む)
5	わからない		
6	サービスを利用する必要がない		

問39 必要だと思うサービスを「あまり利用していない」理由は何ですか。(〇はいくつでも)

1	自己負担が大きいから	5	利用の仕方がわからないから
2	支給要件にあてはまらないから	6	個別のニーズに対応できないから
3	必要とするサービスがないから	7	その他
4	どのようなサービスがあるかわからないから	8	わからない

【すべての方におたずねします。】

問40 次のサービスの中で、これからも利用したい、あるいは新たに利用したいと思うサービスはありますか。(〇はいくつでも)

1	ホームヘルプなどの訪問系サービス
2	訪問看護などの医療系サービス
3	短期入所(ショートステイ)・緊急一時保護
4	補装具費の支給・修理
5	日常生活用具の給付・レンタル
6	住宅設備改善費の給付
7	福祉タクシー券の交付・自動車燃料費の助成など
8	移動支援・同行援護
9	訪問入浴サービス
10	就労移行支援・就労継続支援・生活介護の日中活動系サービス
11	グループホーム・ケアホームなどの居住系サービス
12	児童発達支援・放課後等デイサービスなど
13	手話通訳者・要約筆記者の派遣
14	その他
15	1～13の中に利用したいサービスはない

問41 サービスを利用しやすくするために、どのようなことが必要だと思いますか。(自由記入)

問42 今後、日中をどのようにして過ごしたいと思いますか。(○はいくつでも)

1	学校に通いたい
2	会社などで働きたい
3	就労移行支援・就労継続支援事業所などで働きたい
4	働くための訓練・支援を受け、会社で働くことをめざしたい
5	自立した日常生活が送れるよう、自立訓練などを受けたい
6	病院・診療所で機能訓練、看護、介護、日常生活の支援などを受けながら過ごしたい
7	福祉園などの通所施設で、手助けを受けながらさまざまな活動を行いたい
8	自分の家で過ごしたい
9	その他()
10	わからない

問43 今後、あなたはどのような暮らし方がしたいですか。(○は1つ)

1	ひとりで暮らしたい	5	病院に入院して暮らしたい
2	家族といっしょに暮らしたい	6	その他()
3	グループホーム・ケアホームで暮らしたい	7	わからない
4	施設に入所して暮らしたい		

問44 今後も練馬区に住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

1	住み続けたい	2	区外に引っ越したい	3	わからない
---	--------	---	-----------	---	-------

問45 問44のように思った理由を書いてください。(自由記入)

--

問46 あなたは、最寄の避難拠点(区立小中学校)の場所をご存じですか。(○は1つ)

※練馬区では、災害時に自宅ですべて生活することができない場合の避難場所として、全区立小中学校を指定しており、避難拠点と呼んでいます。なお、避難拠点は居住地による指定はありません。お住まいの地域にかかわらず避難ができます。

1	知っている	2	知らない(→問48へ進む)
---	-------	---	---------------

問47 あなたは、その避難拠点までひとりで避難することが出来ますか。(○は1つ)

1	できると思う	2	できないと思う	3	その他()
---	--------	---	---------	---	--------

【すべての方におたずねします。】

問48 どのような災害への準備をしていますか。(○はいくつでも)

1	非常用の食糧や飲料水を準備している
2	非常持ち出し用の携帯ラジオ、懐中電灯、毛布などを準備している
3	非常用にいつも飲んでいる菓を準備している
4	スマホ、オムツ、バッテリー、発電機など障害特性に応じて必要なものを準備している
5	家族との連絡方法を決めている
6	避難する場所を決めている
7	防災訓練に参加している
8	災害時要援護者名簿に登録している
9	その他()
10	特に何もしていない

問49 災害が起きたときのために、どのような準備が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

1	避難しやすい避難所を整備する
2	障害のある人に防災訓練などへの参加をすすめる
3	日頃から避難方法などを知らせる
4	緊急通報システムをつくる
5	地域で助け合える体制をつくる
6	避難時に障害者用設備(トイレ、ベッドなど)を配置する
7	避難時に人工透析や在宅酸素など生命安全・維持装置を用意する
8	避難時において、視覚障害者や聴覚障害者がわかるようなお知らせをする
9	避難時の介助人などを用意する
10	避難所での手話通訳者、ガイドヘルパーなどを用意する
11	避難所で補装具などの貸出しを行う
12	その他()
13	特にない

問50 障害があることで、差別されたり、いやな思いをしたことがありますか。(○は1つ)

1	いつもある	}	3	ほとんどない
2	たまにある		4	わからない

問51 具体的に、どのようなときに差別されたり、いやな思いをしていますか。(自由記入)

【すべての方におたずねします。】

問52 地域で暮らす上で、障害のことをわかってもらえていないと感じますか。(○は1つ)

1	十分わかってもらえていると感じる	4	まったくわかってもらえていないと感じる
2	時々わかってもらえていないと感じる	5	わからない
3	あまりわかってもらえていないと感じる		

問53 どのようなときに障害のことをわかってもらえていない、あるいは障害のことをわかってもらえていないと感じますか。(自由記入)

問54 あなたは、障害および障害のある方のことを、まわりの人にもっとわかかってもらうためには、何が必要だと感じますか。(○はいくつでも)

1	障害についてのお知らせや講演会などを充分におこなう
2	ボランティア活動や障害理解を深める活動をしている団体を支援する
3	障害のある方との交流を通じて理解と参加を広める
4	学校における福祉教育・人権教育をすすめる
5	障害のある方の社会参加をすすめる
6	福祉施設が地域住民との交流をすすめる
7	障害のある方自らが、積極的に地域活動に参加する
8	障害のある方自らが、必要な手助けをまわりの人に伝える
9	その他 ()
10	わからない
11	特にない

問55 あなたは、成年後見制度を知っていますか。(○は1つ)

※成年後見制度とは、自分で十分な判断ができない人のために、後見人等を選んで本人の意思決定を助け、生活や財産などの権利を守る制度です。選ばれた後見人等は、本人の意思を尊重し、心身の状態に配慮しながら必要な代理行為を行い、財産を適正に管理します。練馬区では、練馬区社会福祉協議会の権利擁護センター「ほっとサポートねりま」を成年後見制度の推進機関と位置づけています。

1	知っている	2	知らない
---	-------	---	------

問56 あなたは、今後の状況によって成年後見制度を利用しますか(利用するつもりですか)。(○は1つ)

1	現在利用している (→問58へ進む)	3	利用したいと思わない
2	今後利用したい (→問58へ進む)	4	わからない (→問58へ進む)

【「利用したいと思わない」とお答えの方におたずねします。】

問57 成年後見制度を利用しない(したくない)理由はなんですか。(○はいくつでも)

1	手続きがむずかしい	4	制度のしくみがよくわからない
2	費用負担が大きい	5	その他 ()
3	後見人が選ばれたまでに時間がかかる	6	必要がない

【すべての方におたずねします。】

問58 今後、障害者施策を充実するためには、どのようなことが必要だと思いますか。(○はいくつでも)

1	障害の早期発見・早期療育に努めること
2	障害のある人となじみの交流をすすめ、お互いの理解を深めること
3	障害のある子どもそれぞれの状況にあった教育をおこなうこと
4	障害のある人の働くところを用意し、仕事を続けられるように努めること
5	ホームヘルパーの派遣など自宅での生活を支えるサービスに力を入れること
6	区内で利用できる施設をつくり増やすこと
7	障害者や高齢者にやさしい福祉のまちづくりをすすめること
8	障害のある人の住まい(公営住宅やグループホームなど)をつくり増やすこと
9	文化、スポーツ、レクリエーション活動に参加できるような手助けすること
10	障害のある当事者による活動を手助けすること
11	ボランティア活動をすすめること
12	障害者施策や福祉に関するおしらせを充分におこなうこと
13	相談しやすいようにすること
14	本人だけではなく、家族を支える手助けを充分におこなうこと
15	その他 ()
16	特にない

このアンケートの中の選択肢や自由記入欄だけでは書ききれなかったことや、ご意見・ご要望、次期計画に盛り込みたいことなどがありましたら、自由にお書きください。

このページは、ふだん「あて名の方ご本人」を介助・援助している方のみお答えください。

■ 介助・援助者の意向

問 59 あて名の方ご本人を介助・援助するにあたって、困っていることはありますか。(○はいくつでも)

1 介助・援助の方法がわからない	11 孤独感がある
2 福祉サービス等の情報が不足している	12 精神的な負担が大きい
3 福祉サービス等が十分に利用できない	13 経済的な負担が大きい
4 余暇など自分の時間が持てない	14 他にも介助の必要な家族・親族がいる
5 ちよつとした外出ができない	15 他の家族の援助が足りない
6 仕事に出られない	16 隣近所の人との関係づくりが難しい
7 長期的な外出ができない	17 何かの際に相談や介助を頼める人がいない
8 睡眠不足である	18 その他 ()
9 身体的な負担が大きい	19 特にない

問 60 あなた(介助・援助者)は、あて名の方ご本人が将来(今後)、どのように暮らすのがよいとお考えですか。(○は1つ)

1 現在の家族と一緒に暮らす
2 新しい家族をつくって家族と一緒に暮らす
3 グループホーム・ケアホームで暮らす
4 ひとりで暮らす
5 施設に入所して暮らす
6 病院に入院して暮らす
7 その他 ()
8 わからない

最後に、練馬区の障害者施策などについて、ご意見・ご要望がございましたら、自由にお書きください。

「あて名の方ご本人」へのおたすねは以上です。
記入もれがないかももう一度お確かめのうえ、同封の返信用封筒(切手はいりません)に入れ、
12月27日(金)までにお近くの郵便ポストに入れてください。
もし、差し支えなければ、ふだんあて名の方ご本人を主に手助けされている方のご意向
(16 ページ) もお聞かせください。

調査にご協力いただき誠にありがとうございました。

同封の返信用封筒(切手は不要)に入れ、**12月27日(金)まで**にご投函ください。

あなたの声をお聞かせください

－ アンケートへのご協力をお願い －

日ごろより、練馬区の健康福祉行政の推進につきまして、ご理解、ご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

練馬区では、障害のある方々の施策を総合的かつ計画的に推進するため、「次期練馬区障害者計画・第四期障害福祉計画（平成 27 年度～平成 29 年度）」の策定作業を進めています。（現計画書は、区役所障害者施策推進課および図書館、区民情報ひろば、区ホームページ等で閲覧できます。）この計画の策定にあたっては、皆さまの日常生活の状況や障害者福祉サービスへのご意見をお聞かせいただき、計画に反映させることが重要であると考え、このたびアンケート調査を実施することとしました。

この調査は、区内にお住まいで自立支援医療制度（精神通院）を利用されている方を無作為に抽出し、対象としています。なお、調査は無記名であり、結果については統計的に処理しますので、個人的にご迷惑をおかけすることはありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、このアンケート調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願い申し上げます。

練馬区

《記入にあたってのお願い》

1. このアンケートおよび返信用封筒には、お名前・ご住所を書く必要はありません。
2. このアンケートは、封筒のあて名ご本人に記入していただくものです。ただし、ご本人が記入することが困難な場合などには、ご家族や身近な方がご本人の意見を聞きながら記入していただきますようお願いいたします。
3. お答えは、平成 25 年 1 2 月 1 日現在の状況を記入してください。
4. お答えは、あてはまる選択肢の番号に○をつけていただくものです。なお、「その他」の場合は（ ）の中に具体的な内容も記入してください。
5. お答えは、「1 つだけ」選んでいただくものと、「いくつでも」選んでいただくものと、また、自由に記入いただくものがあります。
6. 質問によっては、ある条件にあてはまる方だけにお答えをお願いするものがありますので、説明にしたがってお答えください。
7. 答えたくない質問については、無理に答える必要はありません。

ご記入が終わったアンケート用紙は、お手数ですが**1 2 月 2 7 日（金）までに、同封の返信用封筒（切手は不要です）**に入れ、お近くのポストに投函してください。

このアンケートについてわからない点がございましたら、下記までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

練馬区 健康福祉事業本部 福祉部 障害者施策推進課

担当：斎藤、堀内、望月

電話：03-5984-4602（直通）

FAX：03-5984-1215

■ あなた（あて名の方ご本人）のことにについて

問1 あなたの性別と年齢をお答えください。

性別	1 男性	2 女性
年齢	歳	

問2 この調査票はどなたが記入されますか。（○は1つ）

1 本人が自分一人 で記入	3 本人の意向を考えながら 家族や介助者が記入
2 本人に聞いて家族や介助者が代筆	

問3 現在、あなたはどこで暮らしていますか。（○は1つ）

1 自分の持ち家（購入マンションも含む）	5 グループホーム、ケアホーム、社宅、会社の寮
2 親など家族の持ち家（購入マンションも含む）	7 福祉施設
3 公営住宅	8 病院に入院している
4 アパート、賃貸マンション、借家	9 その他（ ）

問4 現在、あなたと一緒に暮らしている人はどなたですか。（○はいくつでも）

1 自分一人だけで暮らしている	4 父、母	7 その他
2 配偶者（夫または妻）	5 祖父、祖母	（ ）
3 息子、娘（その配偶者も含む）	6 兄弟、姉妹	

問5 あなたご本人の収入源は何ですか。（○はいくつでも）

1 就労による収入	3 生活保護費	5 その他
2 年金・手当	4 家族などからの仕送り	（ ）

問6 精神疾患にかかわる病気の発症年齢は何歳の時ですか。覚えていない方は、精神疾患にかかわる病気の診断を受けたときの初診時の年齢を記入してください。

年齢	歳ごろ
----	-----

問7 さしつかえなければ、あなたの診断名に○をつけてください。また、難病と診断されている方は、その部分にも○をつけてください。（○はいくつでも）

1 統合失調症	7 薬物依存	12 アスペルガー
2 うつ病	8 認知症（アルツハイマー、血管性、その他を含む）	13 摂食障害（拒食症、過食症など）
3 躁うつ病	9 高次脳機能障害	14 その他
4 気分障害	10 発達障害	（ ）
5 双極性障害	11 高機能自閉症	15 難病
6 アルコール依存症		

問8 あなたは、福祉サービスを利用するために、「障害程度区分(6段階)」の認定を受けたことがありますか。ある場合には、直近の区分にも○をつけてください。(○は1つ)

1	ない								
2	ある	→	(	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6)

問9 あなたは、以下の手帳をお持ちですか。お持ちの方は等級にも○をつけてください。

(○はいくつでも)

1	精神障害者保健福祉手帳	→	(	1級	2級	3級)	
2	身体障害者手帳	→	(	1級	2級	3級	4級 5級 6級)
3	愛の手帳	→	(	1度	2度	3度	4度)
4	これらの手帳は持っていない						

【問10は、「身体障害者手帳」をお持ちの方におたずねします。】

問10 身体障害者手帳に記載されている障害は次のどれですか。あてはまる障害の番号を「1番目」の欄に記入してください。障害の種類が2つ以上記載されている場合は、記載の順番にしたがって「1番目」と「2番目」を記入してください。

1	視覚障害	
2	聴覚障害	
3	平衡機能障害	
4	音声機能・言語機能・そしゃく機能の障害	
5	肢体不自由(上肢、下肢、乳幼児期以前の非進行性の脳病変による運動機能障害)	
6	肢体不自由(体幹)	
7	心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸、肝機能、免疫の機能の障害	
8	その他()	

■ 介助・援助の状況について

【すべての方におたずねします。】

問11 ふだん、あなたを介助・援助しているのはあなたですか。(○はいくつでも)

1	とくに介助等は受けていない (→問14へ進む)	7	行政の職員(ワーカー・保健師等)
2	配偶者(夫または妻)	8	病院の職員(看護師・精神保健福祉士等)
3	父、母	9	施設の職員
4	息子、娘(息子、娘の配偶者も含む)	10	訪問看護師
5	祖父、祖母	11	ホームヘルパー
6	兄弟、姉妹	12	その他()

最も長く介助・援助している人はあなたですか。

→

(問11の選択肢の番号を記入)

【問12、問13は、現在、介助・援助を受けている方におたずねします。】

問12 どのようなときに介助・援助を受けていますか。具合が悪くなったときのみ受けている場合でも○をつけてください。(○はいくつでも)

1	部屋の整理・整頓・掃除	6	服薬
2	衣類の洗濯	7	医療ケアに関わる介助
3	日用品の買い物	8	他の人と意思疎通を図りたいとき
4	食事のしたく	9	金銭管理
5	外出(通院を含む)	10	その他()

問13 あなたを主に介助・援助している方が、病気のときや、外出しなければならぬときなどは、あなたはどのようにしてほしいと思いますか。(○はいくつでも)

1	同居している他の家族に頼みたい
2	同居していない家族や親せきに頼みたい
3	介護や家事援助などを行うホームヘルプサービスを利用したい
4	訪問看護を利用したい
5	施設への短期入所(ショートステイ)を利用したい
6	近所の人や友人・知人に頼みたい
7	今までそのようなことはなかったもので、よくわからない
8	その他()

【すべての方におたずねします。】

問14 あなたは、ふだんの生活の中で、必要とする介助・援助を受けていると思いますか。(○は1つ)

1	必要だが、受けていない介助・援助がある
2	必要とする介助・援助は受けていると思う
3	特に介助・援助を必要としていない
4	その他()

→問15 必要だが、受けていない介助・援助は、どのようなことですか。(自由記入)

■ 日中の過ごし方について

【すべての方におたずねします。】

問 16 あなたの部屋、平日の昼間、主にどこで(何を)して過ごしていますか。(○は1つ)

1 幼稚園や保育園、学校などに通っている	{ (→問 23 へ進む)
2 働いている(就労移行支援・就労継続支援事業所などの作業所も含む) (→問 19 へ進む)	
3 施設(福祉園など)で介護・訓練を受けている	
4 病院や診療所のデイケアなどを利用している	
5 障害者地域生活支援センター(きらら、すてっぷ、ういんぐ、さくら)に通っている	
6 自宅にすることが多い	
7 その他() (→問 26 へ進む)	

■ 教育について

【問 17、問 18は、現在「幼稚園や保育園、学校などに通っている」方におたずねします。】

問 17 通園・通学先はどこですか。(○は1つ)

1 幼稚園	4 特別支援学校	7 職業訓練校
2 保育園	5 特別支援学級	8 専門学校・大学
3 児童発達支援事業所等	6 通常の学級	9 その他()

問 18 幼稚園・学校などに通っていて、もっと充実してほしいことはありますか。(○はい/つても)

1 通いやすい/ほしい(通学手段の改善など)	()
2 施設・設備などを充実してほしい	
3 介助体制を充実してほしい	
4 先生・生徒の理解などが深まってほしい	
5 放課後の居場所づくりを充実してほしい	
6 夏休みなど長期休みの際の取組を充実してほしい	
7 その他()	
8 特に困っていることはない	

【次は問 26 へ進んでください。】

■ 雇用・就労について

【問 19～問 22は、現在「働いている」方におたずねします。】

問 19 仕事の形態は次のうちどれですか。(○は1つ)

1 自営業	5 内 職
2 家業の手伝い	6 就労移行支援・就労継続支援事業所
3 会社・団体等の正規社員	7 その他
4 非正規社員(臨時、パート、派遣等)	()

問 20 あなたの職場はどこにありますか。(○は1つ)

1 練馬区内	2 23 区内(練馬区を除く)	3 東京都内	4 東京都外
--------	-----------------	--------	--------

問 21 仕事で得た収入は1年にどれくらいですか(給与・賞金など)。(○は1つ)

1 5万円未満	4 50万円～100万円未満	7 500万円～700万円未満
2 5万円～20万円未満	5 100万円～300万円未満	8 700万円以上
3 20万円～50万円未満	6 300万円～500万円未満	9 収入はない

問 22 仕事をすると不安や不満がありますか。(○はい/つても)

1 収入が少ない	8 人間関係が苦手
2 仕事が悪い	9 職場での身分が不安定
3 仕事がつい	10 職場の施設・設備が症状に十分対応していない
4 自分にあつた内容の仕事がない	11 昇給や昇進が平等ではない
5 1日の就労時間が長い	12 通勤が大変
6 1週間の就労日数が多い	13 その他()
7 精神疾患への理解が足りない	14 特に不安や不満はない

【次は問 26 へ進んでください。】

【問 23～問 25は、現在働いていない方におたずねします。】

問 23 今後、働いてみたいと思いますか。(○は1つ)

1 働きたい	3 働きたくない	{ (→問 25 へ進む)
2 働きたいが、働けないと思う	4 わからない	

問 24 「働いてみたい」と思う仕事の形態は次のうちどれですか。(○は1つ)

1 自営業	5 内 職
2 家業の手伝い	6 就労移行支援・就労継続支援事業所
3 会社・団体等の正規社員	7 その他
4 非正規社員(臨時、パート、派遣等)	()

問 25 働いていない理由は次のうちどれですか。(○はい/つても)

1 体調がよくないから	()
2 働く、体調が悪いときに休みにくいから	
3 働く、通院しにくいから	
4 通勤が難しいから	
5 職場の理解が得られないと思うから	
6 やりたい仕事が見つからないから	
7 仕事で難しそうだから	
8 家があるから	
9 その他()	

【すべての方におたずねします。】

問 26 あなたは、精神疾患のある方が働くためにはどのような環境が整っていることが大切だと思いますか。(Oはいくつでも)

1	自分の家の近くに働く場があること
2	自分の家の中で、通勤することなく働けること
3	健康状態にあわせて働けることができること
4	精神疾患のある方にあった仕事を用意されること
5	就労支援機関(レインボーワーク、就労移行支援事業所等)が充実していること
6	生活支援・余暇支援が充実していること
7	事業主や職場の人たちが、精神疾患のある方の雇用について十分理解していること
8	職場の施設や設備が精神疾患のある方にも利用できるように配慮されていること
9	ジョブコーチの支援を受けながら働けること
10	同じような精神疾患のある仲間と一緒に、あるいは交替で働けること
11	その他()
12	わからない

※ジョブコーチ：企業就労や企業で働き続けるために、障害者と企業との間に入って支援する人

■ 外出や社会参加の状況について

問 27 外出の際に困っていることがありますか。(Oはいくつでも)

1	付き添ってくれる人がいない	4	必要ときに、周りの人の手助け・配慮が足りない
2	他人との会話が難しい	5	その他()
3	他人の視線が気になる	6	特に困っていることはない

問 28 あなたは、これからどのような活動をしたいと思いますか。(Oはいくつでも)

1	スポーツやレクリエーション	6	講座や講演会などへの参加
2	旅行	7	地域の行事やお祭
3	ボランティア活動	8	その他
4	障害者団体の活動	()	
5	趣味などのサークル活動	9	特に活動したくない

問 29 あなたは、問 28 のような活動に参加するためにはどのような支援が必要だと思いますか。(Oはいくつでも)

1	活動についての情報が提供されること	7	精神疾患のある方に配慮した施設や設備があること
2	一緒に行く仲間がいること	8	介助者・援助者がいること
3	活動する場所が近くにあること	9	その他
4	外出のための手段が確保されていること	()	
5	精神疾患の症状にあった対応があること	10	特にない
6	適切な指導者がいること		

■ 健康状況や医療について

問 30 精神疾患での、受療状況を教えてください。(Oは1つ)

1	通院している	3	入院している
2	訪問診療(往診)してもらっている	4	入院・通院していない

問 31 精神疾患での入院歴はありますか。ある場合は入院期間にもOをしてください。(Oは1つ)

1	ない
2	ある → ()
	3か月未満 1年～3年未満 3年以上

問 32 健康管理や医療について、困ったり不便に感じたことはありませんか。(Oはいくつでも)

1	特に困っていることはない
2	近所に診てくれる医師がいない
3	専門的な治療を行う医療機関がない
4	通院や健康診査のときに付き添いがいない
5	往診を頼める医者がいない
6	定期的に健康診査を受けられない
7	医療機関とのコミュニケーションがとれない
8	精神疾患のために症状が正確に伝わらず、必要な治療が受けられない
9	受診手続きなど、精神疾患のある方への配慮が不十分
10	医療機関の建物が精神疾患のある方に配慮した構造になっていない
11	医療費の負担が大きい
12	休日・夜間の相談や治療をしてくれる医療機関が少ない
13	その他()

■ 相談や情報の入手について

問 33 あなたは、悩みごとや心配ごとがあるとき、家族や親せき以外にどのようなところに相談していますか。(Oはいくつでも)

1	総合福祉事務所	9	病院・診療所
2	保健相談所	10	学校・職場
3	きらら・すてっぷ・ういんぐ・さくら	11	障害者団体
4	権利擁護センター ほっとサポートねりま	12	友人・知人
5	民生委員・児童委員	13	その他
6	身体障害者・知的障害者相談員	()	
7	児童相談所	14	相談できるところはない
8	福祉施設	15	相談の必要はない

問 34 あなたは、悩みごとや心配ごとを、家族や親せき以外に相談するためには、どのような体制が整っているかと思えますか。(自由記入)

問 35 福祉サービスなどの情報をどこから得ていますか。(○はいくつでも)

1	ねりま区報	8	民生委員・児童委員
2	区のホームページ	9	障害者団体
3	区の障害者福祉のしおり	10	家族・親せき
4	総合福祉事務所・保健相談所	11	友人・知人
5	きらら・すてっぷ・ういんぐ・さくら	12	その他
6	学校・職場・施設	(	)
7	病院・診療所	13	わからない

問 36 福祉サービスの情報を十分に得るためには、区はどのようなことを充実すべきだと思いますか。(自由記入)

■ 福祉サービスについて ■

問 37 あなたは、この 1 年くらいの間に次のサービスを利用したことがありますか。(○はいくつでも)

1	ホームヘルプなどの訪問系サービス
2	訪問看護などの医療系サービス
3	短期入所(ショートステイ)・緊急一時保護
4	障害者地域生活支援センター(きらら・すてっぷ・ういんぐ・さくら)
5	就労移行支援・就労継続支援・生活介護などの日中活動系サービス
6	グループホーム・ケアホームなどの居住系サービス
7	児童発達支援・放課後等デイサービスなど
8	病院や診療所のデイケア
9	その他()
10	1～8のサービスを利用したことがない

※グループホーム・ケアホーム：夜間や休日に、身の介護、相談や日常生活の援助等を受けながら共同生活を行う住居

問 38 あなたは、現在必要だと思うサービスを十分利用していますか。(○は1つ)

1	十分利用している	}	(→問 40 へ進む)
2	十分ではないが、ほぼ利用している		
3	あまり利用していない	}	(→問 40 へ進む)
4	その他()		
5	わからない		
6	サービスを利用する必要がない		

→問 39 必要だと思うサービスを「あまり利用していない」理由は何ですか。(○はいくつでも)

1	自己負担が大きいか	5	利用の仕方がわからないから
2	支給要件に該当しないから	6	個別のニーズに対応できないから
3	必要とするサービスがないから	7	その他()
4	どのようなサービスがあるかわからないから	8	わからない

【すべての方におたずねします。】

問 40 次のサービスの中で、今後も引き続き利用したい、あるいは新たに利用したいと思うサービスはありますか。(○はいくつでも)

1	ホームヘルプなどの訪問系サービス
2	訪問看護などの医療系サービス
3	短期入所(ショートステイ)・緊急一時保護
4	障害者地域生活支援センター(きらら・すてっぷ・ういんぐ・さくら)
5	就労移行支援・就労継続支援・生活介護などの日中活動系サービス
6	グループホーム・ケアホームなどの居住系サービス
7	児童発達支援・放課後等デイサービスなど
8	病院や診療所のデイケア
9	その他()
10	1～8の中に利用したいサービスはない

問 41 サービスを利用しやすいとするためには、どのようなことが必要だと思いますか。(自由記入)

問 42 今後、日中をどのようにして過ごしたいと思いますか。(○はいくつでも)

1	学校に通いたい
2	一般企業などで働きたい
3	就労移行支援・就労継続支援事業所などで働きたい(福祉的就労)
4	就労のための訓練・支援を受け(就労移行支援)、企業就労を目指したい
5	自立した日常生活が送れるよう、自立訓練を受けて過ごしたい
6	医療機関で機能訓練、看護、介護、日常生活の支援などを受けながら過ごしたい
7	福祉園などの通所施設で、身辺の介護などを受けながらさまざまな活動を行いたい
8	自宅で過ごしたい
9	その他()
10	わからない

問 43 今後、あなたはどのような暮らし方がしたいと思いますか。(○は1つ)

1	ひとりで暮らしたい	5	病院に入院して暮らしたい
2	家族と一緒に暮らしたい	6	その他()
3	グループホーム・ケアホームで暮らしたい	7	わからない
4	施設に入所して暮らしたい		

問 44 今後も練馬区に住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

1	住み続けたい	2	区外に移転したい	3	わからない
---	--------	---	----------	---	-------

問 45 問 44 のように答えた理由は何ですか。(自由記入)

--

問 46 あなたは、最寄の避難拠点(区立小中学校)の場所をご存じですか。(○は1つ)

※練馬区では、災害時に自宅で生活することができない場合の避難場所として、全区立小中学校を指定しており、避難拠点と呼んでいます。なお、避難拠点は居住地による指定はありません。お住まいの地域にかかわらず避難ができます。

1	知っている	2	知らない(→問 48 へ進む)
---	-------	---	-----------------

問 47 あなたは、その避難拠点まで自力で避難することができますか。(○は1つ)

1	できると思う	2	できないと思う	3	その他()
---	--------	---	---------	---	--------

問 48 災害に備えて、あなたご自身が準備していることはどんなことですか。(○はいくつでも)

1	非常用の食糧や飲料水を準備している
2	非常持ち出し用の携帯ラジオ、懐中電灯、毛布などを準備している
3	非常用にいつも飲んでいる菓を準備している
4	ストマ、オムツ、パットリー、発電機など症状に応じて必要な用品を準備している
5	家族との連絡方法を決めている
6	避難する場所を決めている
7	防災訓練に参加している
8	災害時要援護者名簿に登録している
9	その他()
10	特に何もしない

問 49 災害に備えて、または災害時に、どのような対策が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

1	避難しやすい避難所を整備する
2	障害のある人が防災訓練等に参加するように促す
3	日頃から避難方法のアドバイスや情報提供を行う
4	緊急通報システムを整備する
5	避難時の支援体制、地域で助け合える体制を整備する
6	避難時に障害者用設備(トイレ、ベッドなど)を配置する
7	避難時に人工透析や在宅酸素など生命安全・維持装置を確保する
8	避難時において視覚障害者や聴覚障害者に配慮した情報提供を行う
9	避難時の介助人などを確保する
10	避難所での手話通訳者、ガイドヘルパーなどを確保する
11	避難所で補装具等の貸出しを行う
12	その他()
13	特にない

問 50 精神疾患があることで、差別や人権侵害を受けていると感じることがありますか。(○は1つ)

1	いつも感じる	3	ほとんど感じることはない
2	たまに感じる	4	わからない

問 51 具体的には、どのようなときに差別や人権侵害を受けていると感じますか。(自由記入)

--

【すべての方におたずねします。】

問 52 地域で暮らす上で、精神疾患に対して理解を得られていると感じますか。(○は1つ)

- | | |
|---|-----------------|
| 1 | 十分得られていると感じる |
| 2 | 時々得られていないと感じる |
| 3 | あまり得られていないと感じる |
| 4 | まったく得られていないと感じる |
| 5 | わからない |

問 53 具体的に、どのようなときに理解を得られている、あるいは理解を得られていないと感じますか。
(自由記入)

--

問 54 あなたは、精神疾患及び精神疾患のある方への区民の理解を深めるためには、何が必要だと
思いますか。(○はいくつでも)

- | | |
|----|-------------------------------------|
| 1 | 精神疾患への理解を深めるための広報・啓発を充実する |
| 2 | ボランティア活動や精神疾患への理解を深める活動をしている団体を支援する |
| 3 | 精神疾患のある方との交流を通じて理解と参加を広める |
| 4 | 学校における福祉教育・人権教育を充実する |
| 5 | 精神疾患のある方の社会参加のために支援を充実する |
| 6 | 福祉施設が地域住民との交流を進める |
| 7 | 精神疾患のある方自らが、積極的に地域活動に参加する |
| 8 | 精神疾患のある方自らが、必要な手助け等を周囲に伝える |
| 9 | その他() |
| 10 | わからない |
| 11 | 特にない |

問 55 あなたは、成年後見制度を知っていますか。(○は1つ)

※成年後見制度とは、自分で十分な判断ができない人のために、後見人等を選任して本人の意思決定を助け、生活や財産などの権利を守る制度です。選ばれた後見人等は、本人の意思を尊重し、心身の状態に配慮しながら必要な代理行為を行い、財産を適正に管理します。練馬区では、練馬区社会福祉協議会の権利擁護センター「ほっとサポートねりま」を成年後見制度の推進機関と位置づけています。

- | | |
|---|-------|
| 1 | 知っている |
| 2 | 知らない |

問 56 あなたは、今後の状況によって成年後見制度を利用しますか(利用する予定ですか)。
(○は1つ)

- | | | | |
|---|---------------------|---|------------------|
| 1 | 現在利用している (→問 58へ進む) | 3 | 利用したいと思わない |
| 2 | 今後利用したい (→問 58へ進む) | 4 | わからない (→問 58へ進む) |

【「利用したいと思わない」とお答えの方におたずねします。】

問 57 成年後見制度を利用しない(したくない)理由は何ですか。(○はいくつでも)

- | | | | |
|---|--------------------|---|----------------|
| 1 | 手続きが複雑である | 4 | 制度のしくみがよくわからない |
| 2 | 費用負担が大きい | 5 | その他() |
| 3 | 後見人が選任されるまでに時間がかかる | 6 | 必要がない |

【すべての方におたずねします。】

問 58 今後、障害者施策を充実するためには、どのようなことが必要だと思いますか。(○はいくつでも)

- | | |
|----|------------------------------------|
| 1 | 障害の早期発見・早期療育に努めること |
| 2 | 障害のある人などい人の交流を推進し、相互理解を深めること |
| 3 | 障害のある子どもそれぞれの障害状況や発達段階に応じた教育を進めること |
| 4 | 障害のある人の働く場の確保や働き続けるための支援を充実すること |
| 5 | ホームヘルパーの派遣など在宅生活支援サービスを充実すること |
| 6 | 区内で利用できる施設を整備すること |
| 7 | 障害者や高齢者にやさしい福祉のまちづくりを推進すること |
| 8 | 障害のある人の住まい(公営住宅やグループホームなど)を整備すること |
| 9 | 文化、スポーツ、レクリエーション活動に参加できるよう支援すること |
| 10 | 障害のある当事者による活動を支援すること |
| 11 | ボランティア活動を充実すること |
| 12 | 障害者施策や福祉に関する情報提供を充実すること |
| 13 | 相談体制を充実し、適切な支援に努めること |
| 14 | 当事者のみでなく、家族を支える支援を充実すること |
| 15 | その他() |
| 16 | 特にない |

最後に、この調査を通じて選択肢や自由記入欄だけでは表現しきれなかったことや、ご意見・ご要望、
次期計画に盛り込みたいことなどがありましたら、自由にお書きください。

--

調査にご協力いただき誠にありがとうございます。

「あて名の方ご本人」へのおたずねは以上です。

記入もれがないかももう一度お確かめのうえ、同封の返信用封筒（切手は不要です）に入れて、
12月27日（金）までにお近くのポストに投函してください。

もし、差し支えなければ、ふだんあて名の方ご本人を主に介助・援助されている方のご意向
(15ページ)もお聞かせください。

このページは、ふだん「あて名の方ご本人」を介助・援助している方がお答えください。

■ 介助・援助者の意向 ■

問 59 あて名の方ご本人を介助・援助するにあたって、困っていることはありますか。(〇はいくつでも)

1 介助・援助の方法がわからない	11 孤独感がある
2 福祉サービス等の情報が不足している	12 精神的な負担が大きい
3 福祉サービス等が十分に利用できない	13 経済的な負担が大きい
4 余暇など自分の時間が持てない	14 他にも介助の必要な家族・親族がいる
5 ちよとした外出ができない	15 他の家族の援助が足りない
6 仕事に出られない	16 隣近所の人との関係づくりが難しい
7 長期的な外出ができない	17 何かの際に相談や介助を頼める人がいない
8 睡眠不足である	18 その他 ()
9 身体的な負担が大きい	19 特にない
10 年齢的に負担が大きい	

問 60 あなた(介助・援助者)は、あて名の方ご本人が将来(今後)、どのように暮らすのがよいとお考えですか。(〇は1つ)

1 現在の家族と一緒に暮らす
2 新しい家族をつくって家族と一緒に暮らす
3 グループホーム・ケアホームで暮らす
4 ひとりで暮らす
5 施設に入所して暮らす
6 病院に入院して暮らす
7 その他 ()
8 わからない

最後に、練馬区の障害者施策などについて、ご意見・ご要望がございましたら、自由にお書きください。

調査にご協力いただき誠にありがとうございました。

同封の返信用封筒（切手は不要）に入れ、1 2月 2 7 日（金）までにご投函ください。

あなたの声をお聞かせください

－ アンケートご協力をお願い －

日ごろより、練馬区の健康福祉行政の推進につきまして、ご理解、ご協力をいただき、厚く御礼申しあげます。

平成 25 年 4 月に施行された障害者総合支援法により、難病患者の方々も障害者福祉サービスを利用できるようになりました。

そこで、日常生活の状況や障害者福祉サービスへのご意見等をお聞かせいただき、「次期練馬区障害者計画・第四期障害福祉計画（平成 27 年度～平成 29 年度）」に皆様の声を反映させることが重要であると考え、アンケート調査を実施することとしました。現計画書は、区役所障害者施策推進課および図書館、区民情報ひろば、区ホームページ等で閲覧できます。

この調査は、区内にお住まいの難病医療費助成制度を申請されている方を無作為に抽出し、対象としています。なお、調査は無記名であり、結果については統計的に処理しますので、個人的にご迷惑をおかけすることはありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、このアンケート調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願い申し上げます。

練馬区

《記入にあたってのお願い》

1. このアンケートおよび返信用封筒には、お名前・ご住所を書く必要はありません。
2. このアンケートは、封筒のあて名ご本人に記入していただくものです。ただし、ご本人が記入することが困難な場合などには、ご家族や身近な方がご本人の意見を聞きながら記入していただきますようお願いいたします。
3. お答えは、平成 25 年 1 2 月 1 日現在の状況を記入してください。
4. お答えは、あてはまる選択肢の番号に○をつけていただくものです。なお、「その他」の場合は（ ）の中に具体的な内容も記入してください。
5. お答えは、「1 つだけ」選んでいただくものと、「いくつでも」選んでいただくもの、また、自由に記入いただくものがあります。
6. 質問によっては、ある条件にあてはまる方だけにお答えをお願いするものがありますので、説明にしたがってお答えください。
7. 答えたくない質問については、無理に答える必要はありません。

ご記入が終わったアンケート用紙は、お手数ですが**1 2 月 2 7 日（金）までに、同封の返信用封筒（切手は不要です）**に入れ、お近くのポストに投函してください。

このアンケートについてわからない点があれば、下記までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

練馬区 健康福祉事業本部 福祉部 障害者施策推進課

担当：斎藤、堀内、望月

電話：03-5984-4602（直通）

FAX：03-5984-1215

■ あなた（あて名の方ご本人）のことに ついて

問1 あなたの性別と年齢をお答えください。

性別	1 男 性	2 女 性
年齢	歳	

問2 この調査票はどなたが記入されますか。(○は1つ)

1 本人が自分一人 で記入	3 本人の意向を考えながら 家族や介助者が記入
2 本人に聞いて家族や介助者が代筆	

問3 現在、あなたはどこで暮らしていますか。(○は1つ)

1 自分の持ち家(購入マンションを含む)	5 グループホーム、ケアホーム
2 親など家族の持ち家	6 社宅、会社の寮
(購入マンションを含む)	7 福祉施設
3 公営住宅	8 病院に入院している
4 アパート、賃貸マンション、借家	9 その他()

問4 現在、あなたと一緒に暮らしている人はどなたですか。(○はいくつでも)

1 自分一人だけで暮らしている	5 祖父、祖母
2 配偶者(夫または妻)	6 兄弟、姉妹
3 息子、娘(息子または娘の配偶者も含む)	7 その他
4 父、母	()

問5 あなたご本人の収入源は何ですか。(○はいくつでも)

1 就労による収入	3 生活保護費	5 その他
2 年金・手当	4 家族などからの仕送り	()

問6 現在罹患している主な難病の疾患名を3ページの「東京都難病医療費等助成制度の対象疾患一覧」の中から番号を選んで2つまでご記入いただくか、疾患名をご記入ください。

1	疾病番号	疾病名	疾病番号	疾病名
			2	

問7 問6で記載した難病の発症年齢と、医療費助成を初めて申請した年齢を記入してください。

	発症年齢	医療費助成
1	歳頃	歳頃
2	歳頃	歳頃

■東京都難病医療費等助成制度の対象疾患一覧

疾病番号	疾病名	疾病番号	疾病名	疾病番号	疾病名
01	ベーチェット病	28	表皮水疱症 (接合型型及び栄養障害型)	56	間脳下垂体機能障害 PRL 分泌異常症 ゴナドトロピン分泌異常症 ADH 分泌異常症 下垂体性 TSH 分泌異常症 クッシング病 先端巨大症 下垂体機能低下症
02	多発性硬化症	29	膿疱性乾癬		
03	重症筋無力症	30	広範脊柱管狭窄症		
04	全身性エリテマトーデス	31	原発性胆汁性肝硬変		
05	スモン	32	重症急性膵炎		
06	再生不良性貧血	33	特発性大腿骨頭壊死症		
07	サルコイドーシス	34	混合性結合組織病		
08	筋萎縮性側索硬化症	35	原発性免疫不全症候群		
09	強皮症	36	特発性間質性肺炎		
093	皮膚筋炎・多発性筋炎	37	網膜色素変性症		
10	特発性血小板減少性紫斑病	38	プリオン病	74	進行性筋ジストロフィー
11	結節性動脈周囲炎	39	肺動脈性肺高血圧症	76	ウィルソン病
	〔 結節性多発動脈炎	40	神経線維腫症 (I 型/II 型)	765	脊髄空洞症
12	潰瘍性大腸炎	41	亜急性硬化性全脳炎	77	悪性高血圧
13	高安病 (大動脈炎症候群)	42	バッド・キアリ症候群	80	骨髄線維症
14	ピュルレガー病	43	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	81	ネフローゼ症候群
15	天疱瘡	44	ライノーム病 (ワグラー病含む)	83	母斑症
16	脊髄小脳変性症	45	副腎白質ジストロフィー	84	シェーグレン症候群
17	クローン病	46	家族性高コレステロール血症 (ホモ接合体)	85	多発性嚢胞腎
18	劇症肝炎	47	脊髄性筋萎縮症	86	特発性門脈圧亢進症
19	悪性関節リウマチ	48	球脊髄性筋萎縮症	863	原発性硬化性胆管炎
20	パーキンソン病関連疾患	49	慢性炎症性脱髄性多発神経炎	866	肝内結石症
	〔 進行性核上性麻痺	50	肥大型心筋症	87	ミオトニー症候群
	大脳皮質基底核変性症	51	拘束型心筋症	88	特発性好酸球増多症候群
	パーキンソン病	52	ミトコンドリア病	883	アルギー性肉芽腫性血管炎
21	アミロイドーシス (原発性アミロイド)	53	リンパ脈管筋腫症 (LAM)	89	強直性脊椎炎
22	後縦靱帯骨化症	54	重症多形赤性紅斑 (急性期)	91	びまん性汎細気管支炎
23	ハンチントン病	55	黄色靱帯骨化症	94	遺伝性肥細胞ニューロパチー
24	モヤモヤ病 (ワグネル動脈閉塞症)			95	遺伝性 QT 延長症候群
25	ウェゲナー肉芽腫症			96	先天性ミオパチー
26	特発性拡張型 (5 つ血型) 心筋症			961	成人スチール病
27	多系統萎縮症			97	網膜脈絡膜萎縮症
	〔 線条体黒質変性症			98	自己免疫性肝炎
	オリープ橋小脳萎縮症				
	シャイ・ドレーガー症候群				

問 8 あなたは、福祉サービスを利用するために、「障害程度区分 (6 段階)」の認定を受けたことがありますか。ある場合には、直近の区分にも○をつけてください。(○は1つ)

1	ない								
2	ある	→	(区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	)

問 9 あなたは、以下の手帳をお持ちですか。お持ちの方は等級にも○をつけてください。(○はいくつでも)

1	身体障害者手帳	→	(1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	)
2	愛の手帳	→	(1 度	2 度	3 度	4 度			)
3	精神障害者保健福祉手帳	→	(1 級	2 級	3 級				)
4	これらの手帳はもっていない								

■ 介助・援助の状況について

問 10 ふだん、あなたを介助・援助しているのはあなたですか。(○はいくつでも)

1	とくに介助等は受けていない (→問 12 へ進む)	7	行政の職員 (ワーカー・保健師等)
2	配偶者 (夫または妻)	8	病院の職員 (看護師・精神保健福祉士等)
3	父、母	9	施設の職員
4	息子、娘 (息子、娘の配偶者も含む)	10	訪問看護師
5	祖父、祖母	11	ホームヘルパー
6	兄弟、姉妹	12	その他 ()

最も長く介助・援助している人
はあなたですか。

(問 10 の選択肢の番号を記入)

【問 11 は、現在、介助・援助を受けている方におたずねします。】

問 11 どのようなときに介助・援助を受けていますか。(○はいくつでも)

1	食事	5	家の中の移動	9	医療ケアに関わる介助
2	トイレ	6	家事 (調理、掃除、洗濯)	10	他の人と意思疎通を図りたいとき
3	入浴	7	外出	11	金銭管理
4	衣服の着脱	8	服薬	12	その他 ()

【すべての方におたずねします。】

問 12 あなたは、ふだんの生活の中で、必要とする介助・援助を受けていると思いますか。(○は1つ)

1 必要だが、受けていない介助・援助がある	} (→問 14へ進む)
2 必要とする介助・援助は受けていると思う	
3 特に介助・援助を必要としていない	
4 その他()	

問 13 必要だが、受けていない介助・援助は、どのようなことですか。(自由記入)

■ 日中の過ごし方について

【すべての方におたずねします。】

問 14 あなたは、平日の昼間、主にどこで(何をして)過ごしていますか。(○は1つ)

1 学校に通っている (→問 20へ進む)	} (→問 19へ進む)
2 働いている	
3 自宅にいる	
4 自宅で療養している	
5 病院・施設で療養している	
6 その他() (→問 20へ進む)	

■ 雇用・就労について

【現在「働いている」方におたずねします。】

問 15 仕事の状態は次のうちどれですか。(○は1つ)

1 自営業	4 非正規社員(臨時、パート、派遣等)
2 家業の手伝い	5 内職
3 会社・団体等の正規社員	6 その他()

問 16 あなたの職場はどこにありますか。(○は1つ)

1 純馬区内	2 23 区内(純馬区を除く)	3 東京都内	4 東京都外
--------	-----------------	--------	--------

問 17 仕事で得た収入は1年にどれくらいですか(給与・賞金など)。(○は1つ)

1 5万円未満	4 50万円～100万円未満	7 500万円～700万円未満
2 5万円～20万円未満	5 100万円～300万円未満	8 700万円以上
3 20万円～50万円未満	6 300万円～500万円未満	9 収入はない

問 18 仕事をすると不安や不満がありますか。(○はい/×でも)

1 収入が少ない	8 人間関係が苦手
2 仕事が難しい	9 職場での身分が不安定
3 仕事がきつい	10 職場の施設・設備が病状に十分対応していない
4 自分にあった内容の仕事がない	11 昇給や昇進が平等ではない
5 1日の就労時間が長い	12 通勤が大変
6 1週間の就労日数が多い	13 その他()
7 難病への理解が足りない	14 特に不安や不満はない

【次は問 20へ進んでください。】

【現在働いていない方におたずねします。】

問 19 働いていない理由は次のうちどれですか。(○は1つ)

1 病状がよくないから
2 働くと、体調が悪いときに休みにくいから
3 働くと、通院しにくいから
4 通勤が難しいから
5 職場の理解が得られないと思うから
6 やりたい仕事が見つからないから
7 仕事をするとということ自体が難しそうだから
8 家事があるから
9 その他()

【すべての方におたずねします。】

問 20 あなたは、難病の方が働くためにはどのような環境が整っていることが大切だと思いますか。

(○はい/×でも)

1 自分の家の近くに働く場があること
2 自分の家の中で、通勤することなく働けること
3 健康状態にあわせた働き方ができること
4 難病の方の健康状態にあった仕事を用意されること
5 就労支援機関(レインボーワーク、就労移行支援事業所)が充実していること
6 生活支援・余暇支援が充実していること
7 事業主や職場の人たちが、難病の方の雇用について十分理解していること
8 職場の施設や設備が、難病の方に利用しやすいように配慮されていること
9 ジョブコーチの支援を受けながら働けること
10 同じような健康状態の方と一緒に、あるいは交替で働けること
11 その他()
12 わからない

※ジョブコーチ:企業就労や企業で働き続けるために、障害者と企業との間に入って支援する人

■ 外出や社会参加の状況について

問 21 外出の際に困っていることがありますか。(○はいくつでも)

1	付き添ってくれる人がいない
2	他人との会話が難しい
3	他人の視線が気になる
4	必要ときに、周りの人の手助け・配慮が足りない
5	歩道が狭く、放置自転車などの障害物が多いなど、歩道が歩きにくい
6	建物などに段差が多く、利用しにくい
7	車を駐車するところがない
8	気軽に利用できる移送手段が少ない
9	電車やバスなどが利用しづらい
10	トイレが使いにくい・少ない
11	その他()
12	特に困っていることはない

問 22 あなたは、これからどのような活動をしたいですか。(○はいくつでも)

1	スポーツやレクリエーション	6	講座や講演会などへの参加
2	旅行	7	地域の行事やお祭
3	ボランティア活動	8	その他()
4	患者団体・患者会の活動		
5	趣味などのサークル活動	9	特に活動したくない

問 23 あなたは、問 22 のような活動に参加するためにはどのような支援が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

1	活動についての情報が提供されること	6	適切な指導者がいること
2	一緒に行く仲間がいること	7	難病の方に配慮した施設や設備があること
3	活動する場所が近くにあること	8	介助者・援助者がいること
4	外出のための手段が確保されていること	9	その他()
5	難病の方にあった対応があること	10	特にない

■ 健康状況や医療について

問 24 難病疾患で、主となる(最も頻度の高い)受療状況を教えてください。(○は1つ)

1	通院している
2	訪問診療(往診)してもらっている
3	入院している
4	入院・通院していない

問 25 難病疾患での入院歴はありますか。ある場合は入院期間にも○をしてください。(○は1つ)

1	ない
2	ある → (3か月未満 3か月～1年未満 1年～3年未満 3年以上)

【問 26、問 27 は、通院している方におたずねします。】

問 26 通院する際の介助は必要ですか。(○は1つ)

1	介助は必要ない	2	付添いなどの介助が必要
---	---------	---	-------------

問 27 健康管理や医療について、困ったり不便に感じたことはありませんか。(○はいくつでも)

1	特に困っていることはない
2	近所に診てくれる医師がいない
3	専門的な治療を行う医療機関がない
4	通院や健康診査のときに付き添いがいない
5	往診を頼める医者がいない
6	定期的に健康診査を受けられない
7	医療機関とのコミュニケーションがとれない
8	症状が正確に伝わらず、必要な治療が受けられない
9	受診手続きなど、難病の方への配慮が不十分
10	医療機関の建物が難病の方に配慮した構造になっていない
11	医療費の負担が大きい
12	休日・夜間の相談や治療をしてくれる医療機関が少ない
13	その他()

■ 相談や情報の入手について

【すべての方におたずねします。】

問 28 あなたは、悩みごとや心配ごとがあるとき、家族や親せき以外にどのようなところに相談していますか。(○はいくつでも)

1	総合福祉事務所	7	難病情報センター
2	保健相談所	8	学校・職場
3	障害者地域生活支援センター (きらら・すてつぷ・ういんぶ・ざくら)	9	患者団体・患者会
4	権利擁護センター ほっとサポートねりま	10	友人・知人
5	民生委員・児童委員	11	その他()
6	病院・診療所	12	相談できるところはない
		13	相談の必要はない

問 29 あなたは、悩みごとや心配ごとを、家族や親せき以外に相談するためには、どのような体制が整っていると思うと思いますか。(自由記入)

--	--

問 30 福祉サービスなどの情報をどこから得ていますか。(○はいくつでも)

1	ねりま区報	6	学校、職場、施設	11	友人・知人
2	区のホームページ	7	病院、診療所	12	その他
3	区の障害者福祉のしおり	8	民生委員・児童委員	(	
4	総合福祉事務所・保健相談所	9	患者団体、患者会	13	わからない
5	きらら・すてっぷ・ういんぐ・さくら	10	家族、親せき		

問 31 福祉サービスの情報を十分に得るためには、区はどのようなことを充実すべきだと思いますか。
(自由記入)

--

■ 福祉サービスについて

問 32 あなたは、この 1 年くらいの間に次のサービスを利用したことがありますか。(○はいくつでも)

1	ホームヘルプなどの訪問系サービス
2	訪問看護などの医療系サービス
3	短期入所(ショートステイ)・緊急一時保護
4	補装具費の支給・修理
5	日常生活用具の給付・レンタル
6	住宅設備改善費の給付
7	福祉タクシー券の交付、自動車燃料費の助成等
8	移動支援・同行援護
9	訪問入浴サービス
10	グループホーム・ケアホームなどの居住系サービス
11	日中一時支援
12	手話通訳者・要約筆記者の派遣
13	介護保険のサービス
14	その他()
15	1～13 のサービスを利用したことがない

※グループホーム・ケアホーム：夜間や休日に、身の介護、相談や日常生活の援助等を受けながら共同生活を行う住居

問 33 あなたは、現在必要だと思うサービスを十分利用していますか。(○は1つ)

1	十分利用している	}	(→問 35 へ進む)
2	十分ではないが、ほぼ利用している		
3	あまり利用していない	}	(→問 35 へ進む)
4	その他()		
5	わからない		
6	サービスを利用する必要がない		

→問 34 必要だと思うサービスを「あまり利用していない」理由は何ですか。(○はいくつでも)

1	自己負担が大きいため	5	利用の仕方がわからないから
2	支給要件に該当しないから	6	個別のニーズに対応できないから
3	必要とするサービスがないから	7	その他()
4	どのようなサービスがあるかわからないから	8	わからない

【すべての方におたずねします。】

問 35 次のサービスの中で、今後も引き続き利用したい、あるいは新たに利用したいと思うサービスはありますか。(○はいくつでも)

1	ホームヘルプなどの訪問系サービス
2	訪問看護などの医療系サービス
3	短期入所(ショートステイ)・緊急一時保護
4	補装具費の支給・修理
5	日常生活用具の給付・レンタル
6	住宅設備改善費の給付
7	福祉タクシー券の交付、自動車燃料費の助成等
8	移動支援・同行援護
9	訪問入浴サービス
10	グループホーム・ケアホームなどの居住系サービス
11	日中一時支援
12	手話通訳者・要約筆記者の派遣
13	介護保険のサービス
14	その他()
15	1～13 の中に利用したいサービスはない

問 36 サービスを利用しやすくするためには、どのようなことが必要だと思いますか。(自由記入)

--

問 37 今あるサービス以外で、どんなサービスや施策が必要だと思いますか。(自由記入)

--

問 38 今後も練馬区に住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

1 住み続けたい	2 区外に移転したい	3 わからない
----------	------------	---------

問 39 問 38 のように答えた理由は何か。(自由記入)

問 40 あなたは、最寄の避難拠点(区立小中学校)の場所をご存じですか。(○は1つ)

※練馬区では、災害時に自宅で生活することができない場合の避難場所として、全区立小中学校を指定しており、避難拠点と呼んでいます。なお、避難拠点は居住地による指定はありません。お住まいの地域にかかわらず避難ができます。

1 知っている	2 知らない (→問 42へ進む)
---------	-------------------

問 41 あなたは、その避難拠点まで自力で避難することができますか。(○は1つ)

1 できると思う	2 できないと思う	3 その他 ()
----------	-----------	-----------

【すべての方におたずねします。】

問 42 災害に備えて、あなたご自身が準備していることはどんなことですか。(○はいくつでも)

1 非常用の食糧や飲料水を準備している
2 非常持ち出し用の携帯ラジオ、懐中電灯、毛布などを準備している
3 非常用にいつも飲んでいる菓を準備している
4 ストマ、オムツ、バッテリー、発電機など病状に応じて必要な用品を準備している
5 家族との連絡方法を決めている
6 避難する場所を決めている
7 防災訓練に参加している
8 災害時要援護者名簿に登録している
9 その他 ()
10 特に何もしていない

問 43 災害に備えて、または災害時にどのような対策が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

1 避難しやすい避難所を整備する
2 難病患者の方にも防災訓練等に参加するように促す
3 日頃から避難方法のアドバイスや情報提供を行う
4 緊急通報システムを整備する
5 避難時の支援体制、地域で助け合える体制を整備する
6 避難時に障害者用設備(トイレ、ベッドなど)を配置する
7 避難時に人工透析や在宅酸素など生命安全・維持装置を確保する
8 避難時において視覚障害者や聴覚障害者に配慮した情報提供を行う
9 避難時の介助人などを確保する
10 避難所での手話通訳者、ガイドヘルパーなどを確保する
11 避難所で補装具等の貸出しを行う
12 その他 ()
13 特にない

問 44 難病を理由として、差別や人権侵害を受けていると感じることがありますか。(○は1つ)

1 いつも感じる	3 ほとんど感じることはない
2 たまに感じる	4 わからない

問 45 具体的には、どのようなときに差別や人権侵害を受けていると感じますか。(自由記入)

【すべての方におたずねします。】

問 46 日常生活をおくる上で、難病に対して理解を得られていると感じますか。(○は1つ)

1 十分得られていると感じる	4 まったく得られていないと感じる
2 時々得られていないと感じる	5 わからない
3 あまり得られていないと感じる	

問 47 具体的には、どのようなときに理解を得られている、あるいは理解を得られていないと感じますか。(自由記入)

問 48 難病および難病がある方への区民の理解を深めるためには、何が必要だと思いますか。
(自由記入)

問 49 あなたは、成年後見制度を知っていますか。(○は1つ)

※成年後見制度とは、自分で十分な判断ができない人のために、後見人等を選任して本人の意思決定を助け、生活や財産などの権利を守る制度です。選ばれた後見人等は、本人の意思を尊重し、心身の状態に配慮しながら必要な代理行為を行い、財産を適正に管理します。練馬区では、練馬区社会福祉協議会の権利擁護センター「ほっとサポートねりま」を成年後見制度の推進機関と位置づけています。

1 知っている	2 知らない
---------	--------

問 50 あなたは、今後の状況によって成年後見制度を利用しますか(利用する予定ですか)。
(○は1つ)

1 現在利用している (→その他へ進む)	3 利用したいと思わない
2 今後利用したい (→その他へ進む)	4 わからない (→その他へ進む)

【「利用したいと思わない」とお答えの方におたずねします。】

問 51 成年後見制度を利用しない(したくない)理由は何ですか。(○はいくつでも)

1 手続きが複雑である	4 制度のしくみがよくわからない
2 費用負担が大きい	5 その他 ()
3 後見人が選任されるまでに時間がかかる	6 必要がない

■ その他 ■

最後に、この調査を通じて選挙区や自由記入欄だけでは表現しきれなかったことや、ご意見・ご要望、などがありましたら、自由にお書きください。

調査にご協力いただき誠にありがとうございます。

「あて名の方ご本人」へのおたずねは以上です。
記入もれがないかもう一度お確かめのうえ、同封の返信用封筒（切手は不要です）に入れて、
12月27日（金）までにお近くのポストに投函してください。
もし、差し支えなければ、ふだんあて名の方ご本人を主に介助・援助されている方のご意向
(14 ページ) もお聞かせください。

このページは、ふだん「あて名の方ご本人」を介助・援助している方のみお答えください。

■ 介助・援助者の意向 ■

問 52 あて名の方ご本人を介助・援助するにあたって、支援が必要なおはありますか。(いくつでも○)

1 介助・援助方法などの情報
2 福祉サービス等の情報
3 福祉サービス等を利用しやすくする
4 気軽に相談できる窓口
5 地域の理解
6 その他 ()
7 特になし

その他、ご意見・ご要望がありましたら、自由にお書きください。

調査にご協力いただき誠にありがとうございます。

同封の返信用封筒（切手は不要）に入れ、**12月27日（金）まで**にご投函ください。

あなたの声をお聞かせください

－ 障害のある方へのアンケートへのご協力をお願い －

日ごろより、練馬区の健康福祉行政の推進につきまして、ご理解、ご協力をいただき、御礼申し上げます。

練馬区では、障害のある方々の施策を進めていくため、「次期練馬区障害者計画・第四期障害福祉計画（平成27年度～平成29年度）」をつくる作業を進めています。この計画をつくるために、障害のある方々の日常生活の状況、将来への希望、考え方などをお聞かせいただき、ご意見を計画に取り入れることが重要と考え、アンケート調査をおこなうこととしました。

このアンケートは、練馬区内、区外の施設にお住まいで、愛の手帳または身体障害者手帳をお持ちの方々を無作為に抽出し、対象としています。なお、このアンケートにはお名前・ご住所を書く必要はありません。ご回答いただきました内容はすべて統計的に処理しますので、個人的にご迷惑をおかけすることはありません。お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願い申し上げます。

《記入にあたってのお願い》

- このアンケートおよび返信用封筒には、お名前・ご住所を書く必要はありません。
- このアンケートは、封筒のあて名の方ご本人に書いていただくものです。ご本人が書くことがむずかしい場合には、ご家族や身近な方がご本人の意見を聞きながら代わりに書いてください。
- お答えは、平成25年12月1日現在の状況を書いてください。
- お答えは、あてはまる項目の番号などに○をつけていただくものです。なお、「その他」の場合は、（ ）の中にその具体的な内容も書いてください。
- お答えは、「1つだけ」選んでいただくものと、「いくつでも」選んでいただくもの、また、自由に書いていただくものがあります。
- 質問によっては、ある条件にあてはまる方だけにお答えをお願いするものがありますので、説明に当たってお答えください。
- 答えたくない質問については、無理に答える必要はありません。

ご記入いただいたアンケート用紙は、**12月27日（金）までに**、一揃にはいつている返信用封筒に入れ、施設の職員の方にお渡しください。

このアンケートについてわからない点がございましたら、下記までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

練馬区健康福祉事業本部 福祉部 障害者施策推進課
担当：斎藤、堀内、望月
電話：03-5984-4602（直通）
FAX：03-5984-1215

■ あなた（あて名の方ご本人）のことについて

問1 あなたの性別と年齢をお答えください。

性別	1 おとこ	2 おんな
年齢	歳	

問2 このアンケートはだれが書いていますか。（○は1つ）

1 自分ひとりで書いています	3 本人の意向を考えながら家族や職員が記入
2 本人に聞いて家族や職員が代筆	

問3 あなたは、現在の施設に入ってからどのくらいになりますか（○は1つ）

1 1年未満	3 5年以上10年未満
2 1年以上5年未満	4 10年以上

問4 あなたの住んでいる施設はどこにありますか。（○は1つ）

1 練馬区内	2 23区内（練馬区を除く）	3 東京都内	4 東京都外
--------	----------------	--------	--------

問5 あなたご本人の収入の種類はなんですか。（○はいくつでも）

1 働いた収入	3 生活保護費	5 その他（ ）
2 年金・手当て	4 家族のお金	

問6 あなたは、以下の手帳をお持ちですか。お持ちの手帳の等級にも○をつけてください。

（○はいくつでも）

1 愛の手帳	→	（ 1度	2度	3度	4度	）
2 身体障害者手帳	→	（ 1級	2級	3級	4級	5級 6級
3 精神障害者保健福祉手帳	→	（ 1級	2級	3級		）

問7 「愛の手帳」または「身体障害者手帳」を何歳のころから持っていますか。あてはまるほうに年齢を書いてください。

愛の手帳	年齢	歳ごろ
身体障害者手帳	年齢	歳ごろ

【問8は、身体障害者手帳を持っている人がお答えください。】

問8 身体障害者手帳に書かれている障害は次のどれですか。あてはまる障害の番号を「1番目」との
ころに書いてください。障害の種類が2つ以上書かれているときは、書かれている順番に「1番目」と
「2番目」を書いてください。

1番目

2番目

1 視覚障害

2 聴覚障害

3 平衡機能障害

4 音声機能・言語機能・そしゃく機能の障害

5 肢体不自由(上肢、下肢、乳幼児期以前の非進行性の脳病変による運動機能障害)

6 肢体不自由(体幹)

7 心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸、肝機能、免疫の機能の障害

8 その他

【すべての方におたずねします。】

問9 福祉サービスを利用するための、障害程度区分は以下のどれですか。(○は1つ)

区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
-----	-----	-----	-----	-----	-----

問10 あなたは、以下のように病院などで言われたことがありますか。(○はいくつでも)

1 発達障害(広汎性発達障害、ADHD、LDなど)	2 高次脳機能障害
3 難病	4 言われたことはない

■ 雇用・就労について

問11 今後、働いてみたいと思いますか。(○は1つ)

1 働きたい	2 働きたいが、働けないと思う	3 働きたくない	4 わからない
		(→問14へ進む)	

問12 「働いてみたい」と思う働き方は次のうちどれですか。(○は1つ)

1 自営業	2 家族の手伝い	3 会社・団体などの正規社員	4 非正規社員(臨時、パート、派遣など)
5 内職	6 就労移行支援・就労継続支援事業所	7 その他	()

【問13は、「働きたいが、働けないと思う」方におたずねします。】

問13 働きたいが、働けないと思う理由は何ですか。(自由記入)

【すべての方におたずねします。】

問14 あなたは、障害のある方が働くためにはどのようなことが大切だと感じますか。(○はいくつでも)

1 家の近くに働くところがあること	2 通勤はしないで、家の中で働けること	3 からの調子にあわせて働けること	4 仕事の内容が障害のある人にあること	5 就労支援をおこなうところ(レインボーワーク、就労移行支援事業所)が充実していること	6 生活支援・余暇支援が充実していること	7 事業主や職場の人たちが、障害のある人と働くことに十分わかってきていること	8 職場の施設や設備が使いやすいようになっていること	9 ジョブコーチの支援を受けながら働けること	10 同じような障害のある仲間と仕事を分け合ったり、交代で働くなど、無理なく働けること	11 その他	12 わからない
-------------------	---------------------	-------------------	---------------------	---	----------------------	--	----------------------------	------------------------	---	--------	----------

※ジョブコーチ:企業就労や企業で働き続けるために、障害者と企業との間に入って支援する人

■ 外出や社会参加の状況について

問15 出かけるとき、困っていることがありますか。(○はいくつでも)

1 つきそってくれる人がいない	2 まわりの人と話すのがむずかしい	3 まわりの人の目が気になる	4 まわりの人の手助け・配慮が足りない	5 歩道が狭かったり、自転車置いてあったりして、歩道が歩きにくい	6 建物などに段差が多く、利用しにくい	7 車を停めるところがない	8 気軽に利用できる移送手段が少ない	9 電車やバスなどが利用しづらい	10 トイレが使いにくい、少ない	11 その他	12 特に関っていることはない
-----------------	-------------------	----------------	---------------------	----------------------------------	---------------------	---------------	--------------------	------------------	------------------	--------	-----------------

問20 福祉サービスなどの情報をどこで知りますか。(○はいくつでも)

1	ねりま区報	8	民生委員・児童委員
2	区のホームページ	9	障害者団体
3	区の障害者福祉のしおり	10	家族、親せき
4	総合福祉事務所・保健相談所	11	友だち、知り合い
5	きらら・すてっぷ・ういんぐ・さくら	12	その他
6	学校、職場、施設	(	)
7	病院・診療所	13	わからない

問21 福祉サービスのことが十分にわかるためには、区はどのようなことに力を入れたらよいですか。(自由記入)

■ 将来について

問22 今後、日中をどのようにして過ごしたいと思いますか。(○はいくつでも)

1

今いる施設で過ごしたい

2

学校に通いたい

3

会社などで働きたい

4

就労移行支援・就労継続支援事業所などの作業所で働きたい

5

働くための訓練・支援を受け、会社で働くことをめざしたい

6

自立した日常生活が送れるよう、自立訓練などを受けたい

7

病院、診療所で機能訓練、看護、介護、日常生活の支援などを受けながら過ごしたい

8

福祉園などの通所施設で、手助けを受けながらさまざまな活動を行いたい

9

自分の家で過ごしたい

10

その他

11

わからない

問16 次の活動の中で、あなたがこれからしたいことはなんですか。(○はいくつでも)

1	スポーツやレクリエーション	6	講座や講演会などへの参加
2	旅行	7	地域の行事やお祭
3	ボランティア活動	8	その他
4	障害者団体の活動	(	)
5	趣味などのサークル活動	9	特にしたいことはない

問17 あなたは、問16のような活動に参加するためにはどのような手助けが必要だと思いますか。(○はいくつでも)

1	活動についてのおしらせがあること	6	きちんと教えてくれる人がいること
2	いっしょに行く仲間がいること	7	障害のある人が使いやすい施設などがあること
3	活動する場所が近くにあること	8	手助けをしてくれる人がいること
4	外出のための手助け・サービスがあること	9	その他
5	障害にあった対応ができること	10	特にない

■ 相談や情報の入手について

問18 あなたは、悩みごとや心配ごとがあるとき、家族や親せき以外にどのようなところに相談していますか。(○はいくつでも)

1	総合福祉事務所	8	福祉施設
2	保健相談所	9	病院・診療所
3	障害者地域生活支援センター	10	学校・職場
(きらら・すてっぷ・ういんぐ・さくら)		11	障害者団体
4	権利擁護センター ほっとサポートねりま	12	友だち・知り合い
5	民生委員・児童委員	13	その他
6	身体障害者・知的障害者相談員	14	相談できるところはない
7	児童相談所	15	相談の必要はない

問19 どのようにになれば家族や親せき以外にも気軽に相談しやすくなりますか。(自由記入)

問27 障害があることで、差別されたり、いやな思いをしたことがありますか。(○は1つ)

1	いつもある	3	ほとんどない	}	(→問29へ進む)
2	たまにある		4		

問28 具体的に、どのようなときに差別されたり、いやな思いをしていますか。(自由記入)

--

【すべての方におたずねします。】

問29 あなたは、障害および障害のある方のことを、まわりの人にもっとわかってもらいために、何が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

1	障害についてのお知らせや講演会などを充分におこなう
2	ボランティア活動や障害理解を深める活動をしている団体を支援する
3	障害のある方との交流を通じて理解と参加を広める
4	学校における福祉教育・人権教育をすすめる
5	障害のある方の社会参加をすすめる
6	福祉施設が地域住民との交流をすすめる
7	障害のある方 自らが積極的に地域活動に参加する
8	障害のある方 自らが必要な手助けをまわりの人に伝える
9	その他()
10	わからない
11	特にない

問30 あなたは、成年後見制度を知っていますか。(○は1つ)

※成年後見制度とは、自分で十分な判断ができない人のために、後見人等を選んで本人の意思決定を助け、生活や財産などの権利を守る制度です。選ばれた後見人等は、本人の意思を尊重し、心身の状態に配慮しながら必要な代理行為を行い、財産を適正に管理します。練馬区では、練馬区社会福祉協議会の権利擁護センター「サポートねりま」を成年後見制度の推進機関と位置づけています。

1	知っている	2	知らない
---	-------	---	------

問23 今後、あなたはどのような暮らし方がしたいですか。(○は1つ)

1	ひとりで暮らしたい	}	(→問24へ進む)
2	家族といっしょに暮らしたい		
3	グループホーム・ケアホームで暮らしたい	}	(→問25へ進む)
4	施設に入所したまま暮らしたい		
5	病院に入院して暮らしたい		
6	その他()		
7	わからない		

※グループホーム・ケアホーム：夜間や休日に、身辺の介護、相談や日常生活の援助等を受けながら共同生活を行う住居

【ひとりで暮らしたい】「家族と暮らしたい」「グループホーム・ケアホームで暮らしたい」とお答えの方におたずねします。】

問24 どのような手助けや環境が必要になると思いますか。(○はいくつでも)

【地域で暮らすまでに】	
1	日常生活ができるための訓練をすること
2	施設や病院以外で暮らす体験ができること
3	障害者向け公営住宅、グループホーム・ケアホームなどの住宅を充実させること
4	アパートなどの入居時に保証人になってくれる人がい、ること
5	自分の家の改修
【地域で暮らし続けるために】	
6	家族の理解があること
7	介助者がいること
8	働いて収入が得られる、収入額が増えること
9	地域住民が障害・障害者に理解があること
10	困ったときに相談できる人がいること
11	ホームヘルパー、ショートステイなどの福祉サービスが受けられること
12	休日・夜間の緊急時に受診できる医療機関が身近にあること
13	その他()
14	特にない

【すべての方におたずねします。】

問25 今後、練馬区に住みたいと思いますか。(○は1つ)

1	住みたい	2	住みたいと思わない	3	わからない
---	------	---	-----------	---	-------

問26 問25のように答えた理由を教えてください。(自由記入)

--

問31 あなたは、今後の状況によって成年後見制度を利用しますか(利用するつもりですか)。(○は1つ)

1 現在利用している (→問33へ進む)	3 利用したいと思わない
2 今後利用したい (→問33へ進む)	4 わからない (→問33へ進む)

【利用したいと思わない】とお答えの方におたずねします】

問32 成年後見制度を利用しない(したくない)理由は何ですか。(○はいくつでも)

1 手続きがむずかしい	4 制度のしくみがよくわからない
2 費用負担が大きい	5 その他 ()
3 後見人が選ばれるまでに時間がかかる	6 必要がない

■	障害者施策全般について	■
---	-------------	---

【すべての方におたずねします。】

問33 今後、障害者施策を充実するためには、どのようなことが必要だと思いますか。(○はいくつでも)

1 障害の早期発見・早期療育に努めること	10 障害のある当事者による活動を手助けること
2 障害のある人となじみの交流をすすめる、お互いの理解を深めること	11 ボランティア活動をすすめること
3 障害のある子どもそれぞれの状況にあった教育をおこなうこと	12 障害者施策や福祉に関するおしらせを充分におこなうこと
4 障害のある人の働くところを用意し、仕事を続けられるように努めること	13 相談しやすいようにすること
5 ホームヘルパーの派遣など自宅での生活を支えるサービスに力を入れること	14 本人だけでなく、家族も支える手助けを充分におこなうこと
6 区内で利用できる施設をつくり増やすこと	15 その他 ()
7 障害者や高齢者にやさしい福祉のまちづくりをすすめること	16 特になし
8 障害のある人の住まい(公営住宅やグループホームなど)をつくり増やすこと	
9 文化、スポーツ、レクリエーション活動に参加できるよう手助けること	

このアンケートの中の選択肢や自由記入欄だけでは書ききれなかったことや、ご意見・ご要望、次期計画に盛り込みたいことなどがありましたら、自由にお書きください。

調査にご協力いただき誠にありがとうございました。

「あて名の方ご本人」へのおたずねは以上です。
記入もれがないかももう一度お確かめのうえ、同封の返信用封筒（切手はいりません）に入れ、
12月27日（金）までに施設の職員の方にお渡しください。
もし、差し支えなければ、ふだんあて名の方ご本人を、主に手助けされている方のご意向（11ページ）もお聞かせください。

このページは、ふだん「あて名の方ご本人」を介助・援助している方がお答えください。

■ 介助・援助者の意向 ■

問 34 あて名の方ご本人が、今後施設を出て、地域で暮らすことの可能性についてお答えください。

(○は1つ)

1	条件が整えば可能だと思う
2	難しいと思う (→問 37 へ進む)
3	その他 ()
4	わからない

【問 35・36 は、問 34 で「条件が整えば可能だと思う」とお答えの方におたずねします。】

問 35 あて名の方ご本人は、地域でどのように暮らすことがよいと思いますか。(○は1つ)

1	ひとり暮らし	3	グループホーム・ケアホームで共同生活
2	いまの家族と一緒に暮らす	4	その他 ()

問 36 地域で暮らすためには、どのような支援や環境が必要になると思いますか。(○はいくつでも)

〔地域で暮らすまでに〕

1	日常生活ができるための訓練をすること
2	施設や病院以外で暮らす体験ができること
3	障害者向け公営住宅、グループホーム・ケアホームなどの住宅の充実
4	アパートなどの入居時に保証人になってくれる人がいること
5	自宅の改修

〔地域で暮らし続けるために〕

6	家族の理解があること
7	介助者がいること
8	働いて収入が得られる、収入額が増えること
9	地域住民が障害・障害者に理解があること
10	困ったときに相談できる人がいること
11	ホームヘルパー、ショートステイなどの福祉サービスが受けられること
12	休日・夜間の緊急時に受診できる医療機関が身近にあること
13	その他 ()
14	特にない

【問 34 で、地域で暮らすことが「難しいと思う」とお答えの方におたずねします。】

問 37 差し支えなければ、施設からの退所が難しいと思う理由を教えてください。(自由記入)

--

最後に、練馬区の障害者施策などについてご意見・ご要望がございましたら、自由にお書きください。

--

調査にご協力いただき誠にありがとうございました。

同封の返信用封筒（切手は不要）に入れ、12月27日（金）までに
施設の職員の方にお渡しください。